

序 「紀要」第8号の発行にあたって

秩父市教育委員会教育長 前 堅 進 一



秩父市教育委員会では、未来の秩父を担う人材の育成と特色ある元気な学校づくりを推進し、「笑顔とあいさつ 思いやりと感動 志高き 秩父大好き人間の育成」をめざし、秩父市学校創造スーパープランに基づいて様々な施策を展開しております。

今年度、秩父市教育研究所は、主任指導主事を兼務する所長のほか、指導主事2人、行政職員1人の合計4人で構成され、学校教育支援や教育活動支援並びに各種研修会や調査研究活動及び小・中学生等を対象とした講座などを行ってまいりました。また、教育研究所内に設置された教育相談室（ひまわり教室・やまなみ教室〔現在休室中〕）では、4人の教育相談員と1名の臨床心理士を配置し、各中学校に配置しているさわやか相談員等と連携しながら、いじめや不登校等の未然防止や早期解決に向け、教育相談事業の充実に努めております。また、今年度は、埼玉県スクールソーシャルワーカー1名（教育相談員と兼務）を配置し、児童生徒の環境改善に向けて、関連機関との連携を図っております。

秩父市ならではの教育改革と特色ある元気な学校づくりをめざして、「外国語活動研修会」、「生徒指導・教育相談研修会」、「さわやか相談員研修会」などを主催し、教職員の資質向上に努めてまいりました。また、今年度から、若い教師のための学級経営講座「秩父師範塾」を開講し、若手教師の育成に力を入れてまいりました。

子どもたちを対象とした事業としては、地元の県立高等学校と連携を図った「学力向上チャレンジ・スクール」、「小学生と高校生とのふれあい体験」や、大学の方々の知識・専門性を生かした、小学生の「理科おもしろ実験教室」、さらに中学生の学力向上を目的とした「フォローアップ・スクール」を実施しました。

この他には、「子どもちちぶ学士・博士」、「子ども伝統芸能伝道師」、「子ども芸術文化伝道師」、「子どもスポーツマスター」の称号授与を行い、郷土秩父を愛し、自信と誇りをもてる子どもの育成に努力しております。また今年度からは、ジオパーク秩父に関連する調査、研究には「子どもちちぶジオ学士・博士」の称号を授与する新たな取組を行いました。

以上のような1年間の活動の経過や成果等を、この「紀要」第8号に掲載いたしました。振り返りますと、改善、充実していかなければならないこともあります。今後とも、教育研究所の充実・発展のために所員一同全力を尽くしてまいりますので、多くの皆様からのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

これまでの様々な諸事業に対しましてご支援ご協力を賜りました関係の皆様にご心から厚く御礼申し上げます、あいさつといたします。

目 次

序	秩父市教育委員会教育長 前 堅 進 一
目 次	2
I 教育研究所の概要	3
1 基本方針	
2 組織構成	
3 事業内容	
II 訪問指導の概要	5
1 北部教育事務所との連携による学校訪問	
2 要請訪問の概要	
III 主な研修会、講座等の概要	7
1 教師力向上研究研修会事業	
① 教師力向上研修会『秩父師範塾』	7
2 授業づくり研修講座	
① 外国語活動研修会（授業研究会）	9
3 個を大切にする研修講座	
① 生徒指導・教育相談中級研修会	10
② さわやか相談員研修会	11
4 チャレンジスクール事業	
① 学力向上チャレンジスクール	13
② 小学生と高校生のふれあい体験	16
③ フォローアップ・スクール	21
④ 理科おもしろ実験教室	24
5 初任者研修・経験者研修	
① 初任者研修施設体験研修	27
② 5年経験者研修社会貢献活動体験研修	30
6 各種推進委員会	
① 体力向上推進委員会	31
② いじめ・不登校対策推進委員会	32
7 「親の学習講座」事業	
① 親のための「子どもの学力向上」講演会	37
② 親学アドバイザー派遣	38
IV 外国語指導助手（ALT）配置事業の概要	39
V 教育相談事業の概要	40
VI 秩父大好き人間育成事業	44
① 子どもちちぶ学士・子どもちちぶ博士	44
② 秩父市子ども伝統芸能伝道師・子ども芸術文化伝道師	50
③ 秩父市子どもスポーツマスター	52
あとがき	54

I 教育研究所の概要

1 基本方針

秩父市教育研究所は、教育に関する基本的調査並びに教育の理論と実践に関する研究と教育関係職員の研修を行うことを目的として、平成17年4月1日に設置された。

教育研究所では、秩父市の教育の現状と課題を踏まえ、21世紀に生きる子どもたち一人一人の可能性を最大限に伸ばし、「秩父大好き人間」をはぐくむための教育研究を「秩父市学校創造スーパープラン」に基づき推進している。秩父市教育研究所条例では、次のような業務が規定されている。

- (1) 教育に関する専門的又は技術的事項の調査研究に関すること。
- (2) 教育関係職員の研修に関すること。
- (3) 教育相談に関すること。指導業務に関すること。
- (4) 教育に関する資料の収集及び提供に関すること。
- (5) その他教育の充実と振興を図るために必要な事項。

2 組織構成

秩父市教育研究所条例及び同条例施行規則に基づき、所要の職員が配置されている。本年度は、主任指導主事を兼務する所長のほか、指導主事2人、行政職員1人の合計4人で構成されている。また、教育委員会事務局付の指導主事を含めて7人の指導主事が連携を図りながら、学校等への指導業務に当たっている。

このほか、秩父市教育支援センターとして、教育研究所内に、秩父市教育相談室が設置され、合わせて4人の教育相談員が児童生徒や保護者への教育相談及び適応指導教室（ひまわり教室）に通級する児童生徒の指導にあたっている。

3 事業内容

(1) 学校訪問等による指導

ア 北部教育事務所と連携した学校訪問

埼玉県教育局北部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当と連携し、教育課程（学習指導・教育計画等）、学校経営等に関する指導・支援を実施する。

イ 学校からの要請による訪問指導

小・中学校、幼稚園からの要請に基づき、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間及び幼稚園の各領域に関する授業研究並びに校内研修テーマに基づく研究・実践への指導・支援（1校につき2回程度）を実施する。

ウ 研究指定校・委嘱校等支援

研究指定校・委嘱校等としての研究に対して、学校等の要請に応じて指導・支援を実施する。

エ 教育相談員による訪問指導

不登校（傾向）児童生徒に関する情報交換を中心に、学校経営全般について協議し、学校教育の充実を図るため、各学校への指導・支援を実施する（各学期1回）。

(2) 研修会・講座等の開催

事業名・講座名等	研修会名等	回数	参加者延人数
教師力向上研究研修会事業	若い教師のための学級経営講座『秩父師範塾』	5	84
授業づくり研修講座	外国語指導助手(ALT)担当者連絡会議	1	26
	外国語活動研修会(授業研究会)	1	40
個を大切にしている研修講座	生徒指導・教育相談中級研修会	4	60
	さわやか相談員研修会	8	88
チャレンジスクール事業	学力向上チャレンジ・スクール	3	280
	小学生と高校生のふれあい体験	8	133
	フォローアップ・スクール	3	75
	理科おもしろ実験教室	1	104
初任者研修・経験者研修	初任者研修施設体験研修	3	36
	5年経験者研修社会貢献活動体験研修	2	20
各種推進委員会	体力向上推進委員会	2	45
	いじめ・不登校対策推進委員会	2	50
親の学習講座事業	親のための「子どもの学力向上」講演会	1	130
	親学アドバイザー派遣	3	10
合 計		47	1178

(3) 各種推進委員会の開催

- ア 体力向上推進委員会 (p.31 参照)
- イ いじめ・不登校対策推進委員会 (p.32 参照)

(4) 外国語指導助手 (ALT) 配置事業 (外国語指導助手配置事業の概要 p.39 参照)

(5) 教育相談事業 (教育相談事業の概要 p.40 参照)

(6) 教育に関する調査・研究

- ア 各種教育課題に関する調査・研究
- イ 指導資料等の編集
- ウ 各種実態調査等の実施
- エ 教育関係資料の整備

(7) 教育の充実と振興

- ア 秩父大好き人間育成支援 (小・中学生対象)
 - (ア)「子どもちちぶ (ジオ) 学士・子どもちちぶ (ジオ) 博士の称号」を授与する。
 - (イ)「秩父市子ども伝統芸能伝道師・子ども芸術文化伝道師の称号」を授与する。
 - (ウ)「秩父市子どもスポーツマスターの称号」を授与する。
- イ 紀要及び教育実践・研究集録等の編集・発行
 - (ア) 学校や教職員の研究・実践の概要を「秩父教育」として編集・発行する。
 - (イ) 秩父市教育研究所の事業内容を「紀要」として編集・発行する。

Ⅱ 訪問指導の概要 (平成24年度)

1 北部教育事務所との連携による学校訪問

月	日	曜	学 校 名	公 開 授業数	研究協議 分科会数	校 内 研 修 テ ー マ
5	23	木	南 小	13	6	豊かな心を育み、確かな力をつける
	30	金	吉 田 中	13	5	基礎学力・学習意欲の向上を目指して、互いに高め合う生徒の育成
6	12	月	花 の 木 小	16	6	子どもたちがせいっぱい運動に取り組む体育の授業づくり
	19	水	荒 川 西 小	7	4	学力向上と豊かな心の育成
	26	金	久 那 小	7	4	確かな学力を身につけ、知力にあふれ生き生きと活動に取り組む児童の育成をめざして
	27	木	高 篠 中	13	5	確かな学力の育成
7	3	月	吉田幼稚園	6	1	幼児教育における人権教育の推進
	4	月	影 森 中	11	6	生きがい・居がい、頼りがい、やりがいのある生き生きとした学校づくり
	9	木	原 谷 小	24	12	自分の考えをもち、伝え合う学習活動
	10	金	大 田 中	8	4	個に応じたわかりやすい授業の創造
9	6	火	吉 田 小	16	6	言語活動の充実を図り、意欲的に国語に取り組む児童の育成
	10	木	荒 川 東 小	14	6	学力向上と豊かな心の育成
	24	火	秩父第二中	20	8	確かな学力と豊かな心を身につけさせる指導の工夫
10	2	金	大 滝 小	3	2	主体的に学び、確かな学力を身につける児童の育成
	3	火	久那幼稚園	3	1	自立に向けて3つのめばえの効果的な実践方法の工夫
	23	水	影 森 小	19	7	気づき、考え、伝える子の育成
	24	木	秩父第一小	10	5	できる喜び・わかる喜びを味わう児童の育成
	26	火	尾 田 蒔 小	14	6	学力向上を図り、一人一人に説明する力を身につけさせる指導の工夫
11	2	金	荒川幼稚園	2	1	しっかり食べて 元気な体をつくろう
	12	木	大 滝 中	7	4	思考力を高め表現できる生徒の育成
	13	金	大 田 小	9	4	基礎・基本の確実な定着と学力向上をめざした学習指導の研究
	19	水	荒 川 中	15	5	学力向上と豊かな心の育成
12	7	火	秩父第一中	33	11	自ら学び、高め合える生徒の育成
	12	水	尾 田 蒔 中	13	5	豊かな人間関係を築き、共によりよく生きる生徒の育成
1	25	木	西 小	18	8	言語活動を充実させ、児童の思考力・表現力を伸ばす指導方法の工夫
	31	火	高 篠 小	17	6	学ぶ楽しさを味わわせ、確かな学力を身につけさせる学習指導

2 要請訪問の概要

月	日	曜	学校名	学年等	教科等	単元・題材名等
6	4	月	大滝小	6	算数	分数の割り算
	11	月	影森小	4	国語	日本語のひびきにふれる
	13	水	尾田蒔中	1	道徳	「仮入部」－真の友情－
	14	金	大滝中	1	社会	文明のおこりと日本の成り立ち
	15	金	原谷小	5	算数	小数のわり算
	18	月	大田中	3	数学	平方根
	20	水	久那幼稚園	全体	保育全般	ジャガイモ掘り
	21	木	秩父第一小	3	算数	たし算とひき算の筆算
	22	金	花の木小	2	体育	いろいろな動きにチャレンジしよう
	25	月	尾田蒔小	2	算数	3けたの数（100より大きい数をしらべよう）
	25	月	吉田中	2	数学	連立方程式
28	木	高篠小	5	社会	米づくりのさかんな庄内平野	
7	3	火	西小	5	国語	自分を中心人物にして物語を書こう
	5	木	大滝小	1・3	算数	10よりおおきいかず
	6	金	荒川東小	5	国語	根拠や理由を明らかにして話し合う
	13	金	秩父第二中	3	道徳	ドナーカード
9	14	金	荒川幼稚園	全体	保育全般	お年寄りと十五夜団子作り
	20	木	秩父第一中	3	理科	運動とエネルギー
10	1	木	影森中	3	学級活動	文化祭の成功のために
	4	木	西小	4	国語	一つの花
	4	火	大滝中	2	数学	平行と合同
	16	火	荒川中	1	英語	We are talking
	17	木	吉田小	3	国語	くらしと絵文字
	18	金	大田小	1	算数	たしざん
	19	火	久那小	2	国語	サケが大きくなるまで
	22	水	南小	2	道徳	ありがとう おかあさん
	25	木	原谷小	2	算数	かけ算の意味
	29	月	高篠小	4	国語	花を見つける手がかり
	31	水	吉田幼稚園	全体	保育全般	にんじゃによる体づくり、バースデイパーティー等
11	2	金	花の木小	4	体育	つないでチャンス！花小シュートプレルボール
	5	月	高篠中	2	数学	平行と合同
	8	木	秩父二中	2	社会	アフリカの課題と自立
	9	金	久那小	5	国語	生き方を見つめて読む「大造じいさんとがん」
	12	月	影森小	1	国語	りすのわすれもの
	12	月	尾田蒔小	3	算数	三角形のなかまを調べよう
	15	木	荒川西小	2・3	国語	さけが大きくなるまで・くらしと絵文字
	19	月	南小	4	国語	ごんぎつね
	20	火	吉田中	2	国語	文章名人 感謝の気持ちを形にするには
	21	水	尾田蒔小	5	算数	面積の求め方を考えよう
	22	木	吉田小	4	国語	ごんぎつね
	26	月	大田中	2	社会	中部地方の生活の舞台
	29	木	荒川東小	3	国語	モチモチの木
30	金	秩父第一小	4	理科	水のすがたとゆくえ	
12	10	月	影森小	6	国語	日本の文化を考える
	11	月	荒川中	2	理科	電気の世界
1	16	月	高篠中	1	保健体育	体づくり運動
	17	木	秩父第一中	2	道徳	左手でつかんだ音楽
	23	木	影森中	2	学級活動	男女相互の望ましい人間関係
	28	木	荒川西小	5	体育	マット運動
	30	金	花の木小	5	体育	ゴール型「フラッグフットボール」
2	5	月	原谷小	3	算数	2位数×2位数の筆算

Ⅲ 主な研修会、講座等の概要

1 教師力向上研究研修会事業

① 教師力向上研修会『若い教師のための学級経営講座～秩父師範塾～』

1 ねらい





教職2年次から9年次までの若手教員を対象に、学級経営上の課題についてのワークショップ型研修を通して、望ましい学級集団の育成ができる力を身につけさせる。


2 参加対象

教職経験2年次から9年次教員（5年次教員及び臨時的任用教員を除く）のうち、各学校1名以内を学校長が指名する。なお、9年次までに全員が受講するものとする。

3 日時・内容等

講師 上越教育大学大学院学校教育研究科 南部昌敏 教授

回	日時	内容
第1回	6月29日（金） 午後3時00分 ～午後4時45分	講義『学級経営力向上をめざした協働と省察によるワークショップ型研修のすすめ』 
第2回	8月6日（月） 午後1時30分 ～午後4時00分	講義『学級経営力向上をめざした協働と省察によるワークショップ型研修のすすめ～学級経営上の課題解決に向けて～』 
第3回	8月17日（金） 午後1時30分 ～午後4時00分	講話『秩父市の学校教育について』 秩父市教育委員会教育長 前堅進一 講義『わかる・できる喜びを味わえる効果的で魅力ある授業の創造』 
第4回	1月29日（火） 午後3時00分 ～午後4時45分	講義『2学期の学級経営を振り返る』 

<p>第5回</p>	<p>2月8日（金） 午後3時00分 ～午後4時45分</p>	<p>講義『2学期の授業実践を振り返る』</p>	
-------------------	---	--------------------------	---

4 参加者の感想

- 南部先生はいつも協働学習の際に具体的な小見出しをつけるように指示していました。最初は概念でも問題ないのではと思いましたが、研修で具体化することで私自身の課題もより明確にすることができました。また、実際に子どもたちに発問したり、指示したりするときに具体的にすることが習慣づきました。
- いつも南部先生の温かい人柄と、先生方の熱い気持ちでいっぱい研修に参加すると元気になりました。今後も、子どものためにできることは全力で取り組む教師でありたいと思います。
- どの先生方も、共通の課題を抱えながら、日々の授業改善に取り組んでいることが分かりました。自分自身が感じていた課題を他の先生方とも共有できた気がして、嬉しく感じました。授業改善のためには、何より自分自身の研究が欠かせません。多くの先生方の実践を参考にしながら、更に力を伸ばしていきたいと思います。
- この研修会では、これまでの自分の振り返りができたと共に、他の先生方の意見や考えを聞き、とても勉強になりました。特に、小学校の先生方の普段の取組というのは、あまり知る機会がありません。そんな中、この研修会で小学校の先生方の指導方法を聞くことができ、小学校で培ってきたものをさらに中学校で伸ばして行かなければならないと強く感じました。
- 日々忙しく、自分を振り返ったり、他の人に学ぶ機会が少ない中、このような研修で自分の活動を振り返り、これからの改善策を考えたり、また南部先生のお話を伺ったり、そして自分同様各学校でがんばっている同僚達の活躍を聞いたり、共に考えたりすることができて幸運でした。

5 成果と今後の課題

(1) 成果

- 南部先生のご指導の下、全研修生が学級経営力、授業力を向上させることができた。
- 同世代の教員同士によるワークショップ型の研修によって、お互いが抱える職務上の課題を、共感し合いながら解決へと導いていくことができた。

(2) 課題

- より実践的な力を研修生に身につけていただきたいと考える。そこで来年度は、授業研究会を開催し、更に教師力を向上させる研修を推進していきたい。

2 授業づくり研修講座

1 外国語活動研修会（授業研究会）

1 趣 旨

新学習指導要領の実施にあたり、小学校における外国語活動の指導方法等の改善に向けて、授業研究会等を通して情報交換を行い、小学校外国語活動の充実に資する。

2 期 日

平成24年11月9日（金）

3 場 所

秩父市立原谷小学校

4 対象者

市内小・中学校教諭（各校1名）

5 日程等

- ・受 付 13:20～13:40
- ・研究授業 13:45～14:30 【授業者：原谷小学校 小松洋治 教諭】
- ・研究協議 15:00～16:00 【ALT：メルシディータ・ジェンキンス】
- ・指導講評 16:00～16:30
- ・閉会行事 16:30～16:40



6 参加した教員からの感想

- デジタル教材を使った授業をはじめてみて感心しました。便利で効果的ということなので、本校でも活用しようと思いました。ALTがいなくてもすばらしい授業が展開されていたのですばらしいと思いました。
- 本格的な外国語活動の授業を久しぶりに見てパワーをもらった気がします。クラスの実態を一番良くわかっている担任だからこそできた授業だったと思います。
- 小松先生の流暢な英語ですすめられ、テンポよく色々なゲームが工夫されていて、電子黒板を使用もあり、とても勉強になりました。
- 電子黒板がもつ、視覚で子どもに訴える授業は、中学生にも必要な要素であると思いました。フラッシュカードに絵をつけたことも同様です。小学校で学んできたことを中学校で生かし、さらには高校へつなげる役割が中学校英語教員にはあると私は考えています。
- Hi, friends の CD 活用が主ですが、小松先生のように子どもをひきつけるような教材（実態に応じたもの）を工夫する大切さを実感しました。一時間の中にたくさんのゲームがあり、飽きさせない工夫がありました。掲示物が教室以外にもあり、外国語に触れるのが日常になっていることも自分がやらなければいけないことだと勉強になりました。

7 本研修会の成果と課題

(1) 成果

- 電子黒板を利用した授業展開が多く参加者の関心をよび、操作方法の勉強になった。
- 小学校の外国語活動は、ALT任せになっている実態があるが、小松先生の授業の進め方を参考にして、ALTはあくまでも指導助手という立場で授業に関わらせる認識をもたせることができた。
- 小・中連携についての指導や実際に体を動かした授業実践の紹介が事務所の指導主事から紹介があり、大いに参考になった。

(2) 課題・次年度への検討事項

- 外国語活動を小学校ですすめていくことの抵抗感をなくす。
- どの学校でもALTとの打合せ時間がなかなか取れない。

3 個を大切にする研修講座

1 生徒指導・教育相談中級研修会（旧学校カウンセリング中級研修会）

1 本研修会のねらい

本研修会参加者が、校内の生徒指導・教育相談の推進者として必要な理論・技法、態度等を習得し、生徒指導の組織と活動の充実に積極的に寄与できる実践力の向上を図る。

2 参加者 秩父郡市小・中学校教職員の希望者（15名参加）

3 実施の概要

回	日時・会場	指導者・内容
第1日	8月2日（木） 午前9時～午後4時45分 小鹿野町両神庁舎	秩父市立尾田蒔中学校 教諭 皆山 和美 先生 ◇開会行事・オリエンテーション ◇講義 生徒指導上の課題解決を目指して ◇面接練習Ⅰ 人間関係づくり、面接の基本
第2日	8月3日（金） 午前9時～午後4時45分 長瀨町役場	長瀨町立長瀨中学校 教諭 旭 和久 先生 ◇演習 ロールプレイング ◇面接練習Ⅱ 信頼関係づくりの重要性
第3日	8月9日（木） 午前9時～午後4時45分 皆野町文化会館	皆野町立三沢小学校 教諭 新井久美子 先生 ◇演習 ソーシャル・スキル・トレーニング ◇面接練習Ⅲ 問題の核心をつかむ
第4日	8月10日（金） 午前9時～午後4時45分 秩父市芸術文化会館	小鹿野町立両神小学校 教頭 高橋 欣也 先生 ◇演習 B方式による事例研修 ◇面接練習Ⅳ 問題解決に向けた指導・援助 ◇閉会行事

4 参加者の感想

- 面接の練習を数多く行えたので、力がつきました。保護者への対応の仕方勉強になりました。面接を行うには、まず相手の心をほぐすことが大切で、その人の心の変容に合わせて、質問内容も考えていかななくてはならないこと、信頼関係をいかに築いていくことが重要であることを学びました。
- 面接演習をさまざまな事例で繰り返し取り組むことができたので、知識だけでなく実践に役立つように感じた。受容—明確化—支持—繰り返し—質問の5項目を特に意識して、今後の現場で生かしていきたいと思います。
- エンカウンターをすることで、初めて会った先生方を打ち解けられたので、クラスの子どもたちにもやらせたい。ロールプレイングでは今までの自分を反省しました。無関心である教師が子どもにとって一番つらいことがわかりました。ほめられることですごくやる気がでてくることも実感しました。



5 成果と今後の課題

(1) 成果

- 15人という参加希望者での集中的な研修だったので、参加者一人一人が面接演習等にも十分に時間をかけて研修できた。
- 期日や会場等について他町教育委員会と連携して行うことができた。

(2) 課題・次年度への検討事項

- 秩父地区の他町教育委員会との連携・協力を図りながら、生徒指導・教育相談上級研修会を受講できるように配慮し、指導者となる人材を育成していく必要がある。

2 さわやか相談員研修会

1 本研修会のねらい

- 相談者への適切な支援の在り方を学ぶとともに、学校職員・家庭・関係機関との連携方法についての理解を深める。
- さわやか相談室の効果的な運営方法やカウンセリング技能についての理解を深める。

- 2 参加者 市内各中学校に配置されているさわやか相談員 9名
 スクールソーシャルワーカー兼教育相談員 1名
 臨床心理士 1名 研究所員 1～2名

3 実施の概要

回	月	日	曜	時間	内 容	会 場
第1回	4	2	月	15:00 }	・辞令交付式 ・さわやか相談員の服務について ・相談業務に係わる事務等の説明	芸術文化会館・ひまわり教室
第2回	5	24	木	15:15 }	・教育相談室から ・グループ別演習 「4月からの業務を振り返って」	芸術文化会館・会議室
第3回	7	5	木	15:00 }	・相談室見学 ・グループ別演習 「1学期の相談活動を振り返って」 「小学校訪問のあり方について」	吉田中学校
第4回	9	20	木	15:30 }	・相談室見学 ・グループ別演習 「2学期当初の相談活動について」 「いじめの早期発見・早期対応について」	尾田蒔中学校
第5回	10	9	火	14:00 }	・いじめ・不登校対策推進委員会と合同 開催	芸術文化会館・会議室
第6回	12	11	火	14:00 }	・いじめ・不登校対策推進委員会と合同 開催	芸術文化会館・会議室
第7回	1	18	金	15:00 }	・相談室見学 ・グループ別演習 「3学期の相談活動について」 「発達障害（傾向）生徒の対応について」	高篠中学校
第8回	3	7	木	15:15 }	・情報交換（三学期の各校の様子） ・一年間の活動のまとめ ・来年度に向けての引き継ぎ事項の検討	芸術文化会館・会議室

※県主催の「市町村配置相談員研修会」は4/24(火)、6/14(木)、8/23(木)、11/13(火)に実施された。

4 研修内容

(1) 第1回

さわやか相談員としての服務の在り方や提出書類の確認などを行った。

(2) 第2回

秩父市及び各学校の児童生徒の状況を把握した上で、学校組織の一員として相談室をどのように運営していったらよいか、また、学校、家庭、関係機関との効果的な連携の在り方について研修した。

(3) 第3回

吉田中学校の相談室見学及び「小学校訪問のあり方」をテーマにグループ別演習を行った。

(4) 第4回

尾田蒔中学校の相談室見学及び「いじめの早期発見・早期対応」をテーマにグループ別演習を行った。

(5) 第5回および第6回

いじめ・不登校対策推進委員会と合同開催。

(6) 第7回

高篠中学校の相談室見学及び「発達障害（傾向）生徒への対応」をテーマにグループ別演習を行った。

(7) 第8回

一年間の成果と課題について情報交換した。成果については共有して今後の各自の相談活動に役立てていけるよう配慮した。



5 本市における身近な相談員の活動状況（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

相談者の内訳(延べ人数)

相談者	男子	女子	合計
小学生	51	99	150
中学生	1,125	1,877	3,002
小学生保護者	14	132	146
中学生保護者	23	296	319
教職員	184	315	499
その他	74	95	169
合計	1,471	2,814	4,285

相談員が扱った中学生の相談

相談項目	実件数	延べ人数		
		男子	女子	合計
いじめ	8	1	39	40
不登校	77	296	793	1,089
友人関係	140	36	264	300
性格・行動	236	564	343	907
学業等	78	81	89	170
その他	214	150	346	496
合計	753	1,128	1,874	3,002

※市町村配置の身近な相談員活動状況等に関する調査から抜粋（県教委実施）

6 成果と今後の課題

(1) 成果

- 各中学校の相談室見学を実施し、相談室運営に関して大いに参考になった。
- さわやか相談員同士のグループ別演習により、互いのカウンセリング技能を向上させ、効果的なスキルアップが図れた。
- 埼玉県市町村配置相談員研修会の予定を考慮して研修会の日程を調整し、月1回程度にすることができた。
- スクールソーシャルワーカー兼教育相談室長からの指導講評を通して、相談員の悩みの解消が図られ、ひまわり教室や他機関との連携が図れた。

(2) 課題・次年度への検討事項

- さわやか相談員が求めている情報を的確に把握できるよう、継続的にさわやか相談員から情報収集を行い、教育相談室等との連携をさらに図っていく。
- さわやか相談員の小学校訪問が全中学校区で実施できるように支援していく。

4 チャレンジスクール事業

1 学力向上チャレンジスクール

1 本講座のねらい

児童を年齢の近い世代である学生等ボランティアと触れ合わせるにより、近い将来における生き方を考えさせるとともに、学習活動に関する興味や関心を引き出し、児童に学ぶ楽しさを教え、基礎学力の向上を図る。

2 参加対象

秩父市内小学校4年生～6年生

3 指導者

学生等ボランティア（埼玉県立秩父高等学校生徒）

4 会場

埼玉県立秩父高等学校研修室（図書館2階）

5 参加人数

	8/8	8/9	8/10	応募者114名	
小学生	94名	93名	93名	延280名	(昨年比 -27名)
高校生	47名	36名	37名	延120名	(昨年比 +43名)

6 日程等

参加児童は、各自の学習課題を持ち寄り、ボランティアの支援を受けながら課題解決に向けた自主学習に取り組む。

期日	日 程	参加人数
第1日目 8月8日（水）	9:00～9:20 開校式	小学生 94人 高校生 47人 合 計 141人
	9:20～9:45 100マス計算	
	9:45～11:35 自主学習	
	11:45～12:00 終わりの会・下校	
第2日目 8月9日（木）	9:00～9:10 朝の会	小学生 93人 高校生 36人 合 計 129人
	9:10～9:35 100マス計算	
	9:35～10:50 自主学習	
	11:00～11:15 100マス計算	
	11:15～11:45 校舎内見学	
11:45～12:00 終わりの会・下校		
第3日目 8月10日（金）	9:00～9:10 朝の会	小学生 93人 高校生 37人 合 計 130人
	9:10～9:35 100マス計算	
	9:35～11:00 自主学習	
	11:15～11:45 100マス計算	
11:45～12:00 閉校式・下校		

7 チャレンジスクールの様子



受付、開校式及び保護者説明会



校舎内の見学の様子



自主学习での小学生と高校生との交流の様子

8 参加者の主な感想

(1) 小学生

- 夏休みにたくさんあった宿題が、たくさんおわりました。高校生と勉強したりしてたのしかったです。わからないところをわかりやすく教えてもらいました。また来年も来たいです。(4年女子)
- 高校生がわからないところをととてもわかりやすく教えてくれてよかったです。学力向上チャレンジスクールは前にもきたことがあるけど、前のときより楽しかったです。百マス計算も丸つけもきれいに丸をつけてくださってよかったです。男の高校生はやさしくわかりやすく教えてくださって、女の高校生は楽しく教えてくださって、来てよかったなと思いました。(5年女子)
- 100マス計算では10位以内に一回も入れなかったけれど、自分なりに計算が速くなったのでよかったです。来年は中学生になるから参加できないけれど、六年の夏によい思い出ができました。(6年女子)

(2) 高校生

- 小学生を教える上で難しかったのは集中力を持続させることでした。すぐに飽きて他の子にちょっかいを出したり、ゲーム機を出してしまったり。でもそんな子たちでもやると決めたときには本気になって100マス計算を解いて、「何秒?」「すげー」と目を輝かせながら採点していることをのぞきこんできてとてもかわいかったです。(1年女子)
- 去年も参加させていただいたので2回目の参加です。今年学んだことは小学生への接し方です。どんだん話しかけてほしい子、あんまりなれなれしくされるのが好きではない子、いろいろな子がいて、態度に注意しました。来年も参加したいです。(2年女子)
- 正直なところ、参加するかどうか迷いました。自分は受験生であり、時間の無駄になるのではないかと考えていました。しかし思うことはただ一つです。本当に参加させていただいてよかったです。勉強を教えるのはとても大変で、打ち解けるにも時間がかかりました。しかし、小学生に、「わかった!」とか「ありがとー!」と言われると本当にうれしい気持ちになりました。(3年男子)

9 本講座の成果と今後の課題

(1) 成果

- 前年度は小学校3年生以上だった対象者を、本年度は小学校4年生以上とし、応募者全員の参加を可能にした。
- 100マス計算を効果的に取り組ませ、集中力を持続させることができた。
- 多くの児童が集中して学習に取り組めたという感想を寄せていた。
- 校舎見学を保護者も行うことができ、進路先を考える上での参考にもなった。
- 高校生は将来を見据えた体験ができ、参加者から喜びの感想を多数いただいた。

(2) 課題・次年度への検討事項

- 3日間を確保することが難しく、次年度は土曜日開催も視野に入れて検討する。

2 小学生と高校生のふれあい体験

1 本講座のねらい

小学生が各専門学科に所属する高校生の支援を受けたり交流を図ったりしながら体験的な学習に取り組み、専門的スキルを身につけたり、新たな発見をしたらるすることをおして、学習意欲の向上を図る。

2 参加対象

秩父市内小学生（講座により対象学年の違いあり）

3 指導者

埼玉県立秩父農工科学高等学校教員および生徒

4 会場

埼玉県立秩父農工科学高等学校（各学科での実習室等）

5 参加人数

(1) 内訳（小学生133人・高校教員31人・高校生124人）

	小学生	高校教員	高校生	合計
①農業部	20	5	19	44
②農業部	14	2	4	20
③農業部	12	4	18	34
④工業部	18	3	15	36
⑤工業部	7	2	5	14
⑥工業部	24	6	34	64
⑦家庭部	19	5	10	34
⑧家庭部	19	4	19	42
合計	133	31	124	288

6 日程等

月	日	曜	タイトル	内容	対象	募集人数	備考
10	13	土	【①農業部】 農産物の収穫体験・ 草花の栽培体験	秋野菜の収穫と花の鉢上げ、寄せ植えを体験する。	全学年	30人	【時間】 10:00～12:00 【費用】200円
7	21	土	【②農業部】 巣箱を作製しよう	巣箱の作製を体験する。 家に持ち帰り、巣箱を取り付け、野鳥の観察を試みる。	全学年	15人	【時間】 9:30～11:30 【費用】300円
8	1	水	【③農業部】 シフォンケーキと酸乳飲料を作ろう！	シフォンケーキと酸乳飲料を製造する。	4年生以上	12人	【時間】 13:00～15:00 【費用】500円

7	26	木	【④工業部】 新エネルギー体験 ～風力発電工作～	ペットボトルを利用して、オリジナル風車発電機をつくる。	全学年	20人	【時間】 10:00～12:00 【費用】500円
8	10	金	【⑤工業部】 スターリングエンジンの製作	振動カー（スターリングエンジン）を製作する。	4年生以上	10人	【時間】 9:30～11:30 【費用】500円
8	1	水	【⑥工業部】 電子工作	動くおもちゃを製作する。	全学年	25人	【時間】 13:00～15:00 【費用】1000円
8	17	金	【⑦家庭部】 トートバッグ製作	ミシンを使って、トートバッグを製作する。	5年生以上	20人	【時間】 10:00～12:00 【費用】200円
8	2	木	【⑧家庭部】 楽しくカンタン、クッキング！	秋野菜の収穫と花の鉢上げ、寄せ植えを体験する。	4年生以上	20人	【時間】 10:00～12:00 【費用】200円

7 小学生と高校生とのふれあい体験の様子



①農業部での様子



②農業部での様子



③農業部での様子



④工業部での様子



⑤工業部での様子



⑥工業部での様子



⑦家庭部での様子



⑧家庭部での様子

8 参加者の主な感想

(1) 小学生

- 高校生のお姉さんが、私と友だちに優しく教えてくれたり、でっかいさつまいもがあったら、スコップで土をやわらかくしてもらって、でっかいおいもがとれたのでうれしかったです。 (①農業部に参加 3年女子)
- すばこをじょうずにつくれてうれしいです。とくにのこぎりで木をきるのがうまいとパパにいわれました。とてもうれしかったです。はやくシジュウカラがはいるといいな。 (②農業部に参加 2年女子)
- 高校生のお兄さんがやさしく指導してくれたのですごく楽しくシフォンケーキと酸乳飲料をつくれたのでよかったです。 (③農業部に参加 6年女子)
- いろいろむずかしかったけど、わからない所を高校生がわかりやすくおしえてくれて、いい作品ができました。はんだ付けは初めてで少しこわかったです。つくりおわって、ちゃんと光って、音が出てうれしかったです。 (④工業部に参加 3年女子)
- 参加してよかったことは、エンジンの仕組みがよく分かって、楽しめたということです。高校生もわかりやすく、正確に教えていただいて、本当に優しいし、元気だし、笑顔でできてよかったです。 (⑤工業部に参加 5年男子)
- エコライダーが上手に作れてよかったです。おもしろかったなので、また、こういうおもちゃをつくりたいです。おにいさんたちに教えてもらってよかったです。 (⑥工業部に参加 4年男子)
- ミシンを使うのははじめてできんちょうしたけど、高校生のお姉さんがわかりやすく教えてくれたので、速く、きれいにできあがりました。また家でオリジナルの

トートバックを作りたいです。前よりも、家庭科が好きになりました。

(⑦家庭部に参加 5年女子)

- ピザきじを広げるときに、こなをつけすぎてしまったので、家で作るときは、つけすぎないように注意したいです。高校生がわかりやすく教えてくれたのでかんとんに作れました。楽しかったです。(⑧家庭部に参加 4年女子)

(2) 保護者

- 小学校に入学してから、土を触る機会が減ってきていたのでとてもよかったです。パンジーの寄せ植えも、花を大事に扱うことを学べたと思います。何より、子ども自身が、次も参加したいと思えたことがうれしかったので、来年も参加したいです。

(①農業部に参加)

- 家では、なかなか工具を使ったり、作業をすることがありませんでしたが、初めて使う道具を上手に使っていたので、またさせてみようと思いました。

(②農業部に参加)

- こちらの高校の専門的な学習にいつも驚いています。今回、思いがけず参加できることができ、子どもはとても喜んでいました。シフォンケーキを作っているときの真剣な顔と、高校生のお姉さんを尊敬の眼差しで見上げる子どもの顔は、初めて見たかもしれません。(③農業部に参加)

- 1年生なので、むずかしいかなと思っていましたが、大好きな工作なので意欲的に取り組んでいました。はんだは一人でつけられ、お兄さんから「上手だね!」と誉めてもらい、照れつつもうれしそうでした。(④工業部に参加)

- 終始親切な対応で子どももリラックスして楽しんで取り組めた様子です。楽しみにしていますので、今後も引き続き行っていただきますようお願いいたします。

(⑥工業部に参加)

- 普段、なかなか入ることの出来ない学校の調理室を見ることができ、施設の充実さに驚きました。子どもも、高校生からていねいに指導を受けながらピザやゼリーを楽しく作ることができ、貴重な経験をさせることが出来ました。また来年も受講させたいです。(⑧家庭部に参加)

9 本講座の成果と今後の課題

(1) 本講座の成果

- 各講座が開催される日の案内表示、受付や準備等、秩父農工科学高等学校の教職員や生徒が主体的に運営してくれたため、来校した児童・保護者も気持ちよく迎えられ、好印象を持つ感想が多かった。
- 体験的な講座のため、多くの児童が興味や関心を高め、集中しながら最後までしっかりと活動に取り組んでいた。

(2) 課題・次年度への検討事項

- 工具や用具を使用する際に、安全面での配慮を十分考慮しながら取り組ませなければならない。

③ フォローアップ・スクール

1 本講座のねらい

中学生が教員を目指す大学生から学習支援を受けて自主学習に取り組むことにより、異年齢交流を図るとともに学習意欲を高め基礎学力の向上を図る。

2 参加対象

秩父市内中学生

3 指導者

教職を目指す大学生ボランティア

4 会場

秩父市芸術文化会館・会議室

5 参加人数

	12/25	12/26	12/27	3日間合計
中学生	24名	26名	25名	延 75名
大学生	7名	8名	11名	延 26名

6 日程等

参加生徒は、各自の学習課題（ドリルや問題集等）を持参して、ボランティアの支援を受けながら課題解決に向けた自主学習に取り組む。

日 程	12/25 (火)	12/26 (水)	12/27 (木)
9 : 0 0	・朝の会 ○自主学習	・朝の会 ○自主学習	・朝の会 ○自主学習
1 2 : 0 0	・帰りの会	・帰りの会	・帰りの会
	・解散	・解散	・解散

7 フォローアップ・スクールの様子



大学生ボランティアの進行による朝の会・帰りの会



自主学习での生徒の様子

8 参加者の主な感想

(1) 中学生

- 分かりやすい。理解するまで教えてくれてよかった。勉強方法も教えてくれたので、勉強の仕方が分かりました。家で勉強するより、フォローアップ・スクールでやった方が集中して楽しく勉強ができました。苦手な所も少なくなりました。
- 大学生の方たちとも、たくさんお話ができました。入試や面接についても教えてもらい、家での勉強方法もわかりました。これからも、この体験を生かして、家での勉強に集中して取り組みたいです。
- いつもは、わからない所はそのままにしていたので、すごく苦手が多かったけれど、大学生の人たちの教えてもらい、1年生から2年生までの苦手だったところやわからない所ができるようになりました。授業中、ずっと疑問に思っていたことも、わかりやすく優しくおしえてくれました。
- 以前も、このフォローアップ・スクールに参加したことがあり、今回で2度目の参加になりました。苦手も少し解消されたのでよかったです。すべての苦手が消されたわけではないけれど、何より学習意欲が高まり勉強への意欲が出てきたので、

とてもよかったです。

- はじめて参加したフォローアップ・スクールだったけど、とても楽しかったです。自分だけではわからない問題がたくさんあったけど、大学生がとてもわかりやすく教えてくれたのでわかるようになりました。これからは、自分でも理解できるよう勉強をがんばりたいなと思いました。

(2) 大学生

- 今回、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。子どもたちは、皆やる気があり、教えるのがとても楽しかったです。ただ教えるのではなく、答えを自分で導き出せる力がつくように工夫することが大切だと思いました。私は、来年度から中学の英語教師になります。今回の経験を生かし、学習指導・生徒指導などに力を入れていきたいと思います。
- 今回参加させていただいて、改めて教える喜びと難しさを実感しました。自分は数学が苦手で、生徒の質問に対しても悪戦苦闘しつつの対応しかできませんでした。しかし、教えた子は、「そうか！」と目を輝かせて話を聞いてくれたのでよかったです。

9 本講座の成果と今後の課題

(1) 成果

- 申し込んだ生徒は、学習意欲も高く集中して取り組んでいた。3日間全てに参加できない生徒もいたが、生徒が思った以上に学習を進めていた。
- 生徒が、大学生に対して高校や大学のこと、各教科の勉強の仕方等を話す機会もあり、これからの進路先を考える上での参考にもなった。
- 多くの生徒が学習する雰囲気の中で、集中して学習に取り組めたという感想を寄せていた。

(2) 課題・次年度への検討事項

- 大学生ボランティアの専門教科が主要5科目（国語・社会・数学・理科・英語）の免許を持っていると、分からないところがある生徒に対応しやすい。
- 今年度においても、降雪やインフルエンザ等の流行がなかったことで、運営等はスムーズにいったが、やむなく中止等になった場合の対応を十分に検討していく。
- 希望する生徒がさらに増えると学習する場所の確保が難しい。
- 冬季休業中の午前中の開催なので、部活動と重なるため、参加を申し込まない生徒が多い。
- 芸術文化会館のみの開催であるため、近隣の中学校の申込は比較的多かったが、吉田・荒川方面の申込が少ない。

4 理科おもしろ実験教室

1 本講座のねらい

理科を苦手とする児童が増える中、東京理科大学、埼玉大学の方々による、楽しくてワクワクする実験を見たり、実際に実験や体験をしたりすることにより、理科の本質や魅力に迫り、「理科大好き人間」を育成する。

2 参加対象

秩父市内小学校3年生・4年生・5年生・6年生

3 募集定員

120人（物理コース40人、化学コース80人）

※応募者が定員を超える場合は、抽選とする。

4 当日参加人数

104人（182人の応募）

	物理コース	化学コース	合計
参加人数	34名	70名	104名

※保護者には参観希望を取った。

5 日程・テーマ等

日 時 ・ 会 場 ・ テー マ 等
期 日：8月19日(日)
時 間：13時00分～16時00分
会 場：秩父市立秩父第一中学校 理科室
【物理コース】
講 師：東京理科大学 飯田 努 教授及び研究室の方々（9名）
テーマ：「オリジナルICカードをつくろう！地球儀が宙に浮く！？電気と磁石の不思議な世界」
【化学コース】
講 師：埼玉大学 芦田 実 教授及び研究室の方々（9名）
テーマ：「とける！にごる！」「色が変わる！身近なpH指示薬」

6 当日について

(1) 日程

- 13:00～13:15 受付
- 13:15～13:30 あいさつ、本日の概要説明、講師紹介
- 13:30～13:40 実験の説明、準備等
- 13:40～14:40 実験・体験①
- 14:40～14:50 休憩
- 14:50～15:40 実験・体験②
- 15:40～15:50 まとめ、片付け
- 15:50～16:00 閉講式

(2) 当日の様子



開会式



物理コース



化学コース

(3) 参加者の主な感想

- すごくわかりやすかったです。前も、違うところで理科おもしろ実験教室をやったけれど、今日の方が何倍もおもしろかったです。特に地球儀の実験が楽しかった。
(物理コース 5年男子)
- すごく勉強になったので、中学生ぐらいになったら、生かしたいと思っています。理科をもっと勉強して、もっといろんなことがわかるようになりたいです。
(物理コース 5年女子)
- ぼくは、理科がとても好きなので、とてもわくわくしていました。思った通り理科の実験は楽しくて、理科が前よりもっともっと好きになった気がします。
(物理コース 5年男子)
- じっけんをはじめてやりました。くすりをいれて、色が変わるところがたのしかったです。またきたいです。
(化学コース 3年女子)
- 私が一番すごいなと思った実験は「エコかいろ」です。冷たい物が温かくなったので、すごいと思いました。一番楽しかった実験は、息を吹きかけるだけで、色が変わる実験です。今日は夏休みのとてもいい思い出になってよかったです。
(化学コース 4年女子)
- 埼玉大学のお兄さんやお姉さんがやさしく教えてくれたのでとても気持ちよかったです。また、4年、5年、6年も来たいです。理科がもっと好きになりました。みんなの理科ばなれと理科ざらいも、この理科おもしろ教室でこくふくしてもらいたいです。
(化学コース 3年女子)

7 本教室の成果と今後の課題

(1) 成果

- 以前からの東京理科大学に加え、今年度は新たに埼玉大学との連携を図り、物理コースと化学コースの2コースを開設することができた。
- 1つのグループに学生が1～2名ついて、実験の方法を手伝ったり、サポートしてくれたため、児童の興味・関心を引き出すことができた。
- 定員を超える応募があり、児童に興味があることや、参観を希望する保護者も多く、関心の高さが窺えた。
- 講義を聴くだけでなく、実際に実験を中心に行っていくため、参加する児童の意識も高く、集中して本気で取り組む姿が見られた。

(2) 課題・次年度への検討事項

- 地元企業や他大学との連携も視野に入れたい。
- ジオパーク秩父との関連を図り、地学コースの開設を検討したい。

5 初任者研修・経験者研修

1 初任者研修施設体験研修

1 趣 旨

小・中学校合同で実施し、各種の幅広い体験をとおして、新任教員としての社会性の向上や知見の拡大を図り、自己の教育実践に役立てる。

2 参加対象 平成24年度小学校・中学校初任者研修参加者

3 参加者 (小学校5名 中学校7名 計12名)

氏名	所 属	氏名	所 属
増 雅代	秩父市立 花の木 小学校	田端 香	秩父市立秩父第一中学校
遠山 宗則	秩父市立 西 小学校	横田 淳	秩父市立 尾田蒔 中学校
高田 佳美	秩父市立 原 谷 小学校	笠原 麻衣	秩父市立 尾田蒔 中学校
大島 悠史	秩父市立 高 篠 小学校	福島 孟	秩父市立 高 篠 中学校
黒沢 恵理	秩父市立 吉 田 小学校	金子真莉絵	秩父市立 影 森 中学校
新井 由里	秩父市立秩父第一中学校	高橋 雄大	秩父市立 荒 川 中学校

4 実施の概要

(1) 社会福祉施設研修

ア ねらい

社会福祉施設の参観等を通して、多くの人々と触れ合い、幅広い教育活動の在り方を探る。

イ 日程

7月24日(火) 8:30～16:00

ウ 研修場所 (6ヶ所に分かれて研修)

グループホーム楓、ケアホーム楓、花菖蒲デイサービス、影森デイサービス、楓デイサービス、荒川園デイサービス

エ 研修生の感想 (一部抜粋)

- 学校とはまったく異なる施設だが、利用している方々の体の具合や性格など、個人個人に合わせた対応をすることは学校と似ており、高齢の方が多い分、対応がとても大変だと感じた。さまざまなふれあいの中で感じたことを、今後の学校での指導に活かしていきたい。



(2) 異業種研修

ア ねらい

異業種の職場を参観したり、接遇などの体験的研修をしたりすることにより、他の職業に対する理解を深めるとともに、教員としての視野を広げる。

イ 日程

8月2日(木) 9:00～16:00

ウ 研修場所

秩父ミュージアムパーク スポーツの森

エ 研修生の感想（一部抜粋）

- 今回の施設体験研修で感じたことは、安全管理が徹底されていることでした。危険が予想されるプールの吸い込み口やプールサイドなど、さまざまな場所で何度もチェックしていました。事故が起きてからでは遅いのでとても大事なことだと改めて感心しました。これは、学校現場でも同じことが言えると思いました。今の季節に行っているプールはもちろん、教室や体育で使用する道具、校庭の遊具など児童が直接使用するものの安全を再確認しなければならないと感じました。
- お客様に気持ちよく利用していただくために、細部にわたって清掃を行ったり、必要なものを揃えたりする気配りや心遣いに感心させられました。責任を持って与えられた仕事を最後まできちんとやることは学校生活でも大切なことだと思います。自分自身はもちろん、そのような責任感を生徒にも伝え、一人一人が気持ちよく過ごしていくために、相手のことを考えて行動するよりよいクラスになるようがんばりたい。



(3) 社会教育施設研修

ア ねらい

社会教育施設の見学を通して、秩父地域の伝統や文化等を学び、教育活動に役立てる。

イ 日程

8月3日（金）9：00～12：00

ウ 研修場所

荒川歴史民俗資料館

エ 研修生の感想（一部抜粋）

- 秩父に住んでいてもまだまだ知らないことが多く、まず自分自身をもっと秩父の魅力について学ばないといけないと思いました。生産用具の体験学習では「できた喜び」を味わうことができ、とても嬉しくなりました。生徒へ教えるときも「楽しい」「できた」という喜びを味わわせることが大事だと実感しました。
- 秩父が盆地になった理由や、お祭りが多い理由など、秩父で暮らしているのに知らないことが数多くありました。農機具体験を通して昔の人の知恵が詰まっていることを知り、私たち教師がこのような伝統を子どもたちに伝えていかなければいけないと思いました。もっと勉強して、秩父大好き人間を育てられるようになります。



(4) 協議「夏休み明けの指導に向けて」

ア ねらい

1学期の成果と課題についての情報交換を行い、夏休み明けの学習指導・学級経営等の改善に役立てる。

イ 日程

8月3日(金) 13:00～16:30

ウ 研修場所

荒川公民館

エ 研修生の感想(一部抜粋)

- 1学期の悩んだ思いを同期の人たちと話し合うことで、自分の心に余裕を持つことができたように思います。自分の持つ悩みの改善の方法を考えることができ、2学期に向けて努力していきたいと思えます。



5 成果と今後の課題

(1) 成果

- 社会福祉施設研修、異業種研修では、学校とは違う立場の人と触れ合うことができた。広い視野を持つとともに、お客様や利用者の方を思う目線での観点が、いかに大切かを理解することができた。
- 社会教育施設研修では、秩父市のことをよく知ってもらう意味で、歴史民俗資料館を見学した。農機具体験や、地元の方の話を聞くことで、秩父市への見聞を広めることができた。また、資料館の概要を知ることによって授業での活用を図ったり、連携できることも知った。
- 協議「夏休み明けの指導に向けて」では、初任者同士で日頃の悩みを語り合い、情報交換を行うことで、お互い悩んでいることは共通しており安心感を持ったという感想が多かった。

(2) 課題・次年度への検討事項

- 施設体験研修は夏季休業中に行うため、日程や会場等については早めに計画を立て、県主催の初任者研修を考慮しながら検討していく必要がある。
- 社会教育施設研修等では、秩父市をよく理解してもらうための場所を選定していきたい。歴史や文化等について理解を深めるだけでなく、実際に各自が体験できる研修の充実も図っていきたい。

2 5年経験者研修社会貢献活動体験研修

1 本研修のねらい

教員が他者への思いやりの心や公共心を深めるとともに、学校教育以外の社会にも視野を広げる。

2 参加対象 平成24年度北部地区小・中学校5年経験者研修参加者

3 参加人数 10名

4 実施の概要

日 時	8月2日(木)～3日(金) 8時30分～17時15分	8月2日(木)～3日(金) 8時30分～17時
場 所	社会福祉法人 秩父市社会福祉事業団 特別養護老人ホーム「偕楽苑」 〔ほのぼのマイタウン〕(秩父市蒔田)	特別養護老人ホーム「白砂恵慈園」 (秩父市吉田久長)
参加者	土屋智治(秩父第一小学校) 古田晴香(久那小学校) 野澤雅人(影森小学校) 森川 亮(尾田蒔中学校) 笠越拓也(影森中学校)	中村勝代(尾田蒔小学校) 岸 寛子(大田小学校) 山口晶子(吉田小学校) 平澤貴志(吉田小学校) 千島佑季子(秩父第二中学校)
内 容	○施設概要説明、講義(高齢者の疾患・高齢者の介護) ○体験研修(清掃、食事の後片付け、コミュニケーション、レクリエーション活動等) ○意見交換会	

(3) 研修生の感想

- 講義では、高齢者の体力には個人差があり、常に”個別対応”が求められることがとても勉強になりました。チェックや分析を怠らず”変わったことはないか”いつも見守っているのは教育にとっても通ずるものだと感じました。
- 施設の理念である「いつも明るい挨拶をする」「相手の立場に立って考える」「お世話させていただけることに感謝する」という考え方は、教員として、人間として、人と接する上で全てに通じることだと思いました。また、口腔ケアに力を入れていることや看取り介護を大切にされているところなど、利用者様一人一人を大切に、共に向き合い、寄り添う姿勢に感動しました。
- 利用者の方々が最期の生活の場をより自分らしく豊かに暮らしていけるよう、スタッフの皆さんが専門性を生かし、責任と熱意を持って取り組まれている姿に感動しました。特に、利用者お一人お一人の様々な状況に合わせて接し方や食事、生活に係わる全ての面からプランを立て、支援に当たっている姿から、教師として子ども一人一人、クラス、授業をよりよいものにしていくために具体的な手立てを考え、実行していくことの大切さを学びました。

5 本研修の成果と今後の課題

(1) 本研修の成果

- 参加教員が大変意欲的に研修に参加し、2日間の体験研修をとおして、教職以外の業種に直接触れる中で視野を広げるといふ本事業のねらいを十分に達成できた。

(2) 課題・次年度への検討事項

- 初任研での施設体験研修内容を確認し、体験業種が初任研で行った施設体験研修と類似したり、日程が重ならないようする等の配慮が必要である。

6 各種推進委員会

1 体力向上推進委員会

1 第1回秩父市体力向上推進委員会

- (1) 期 日 平成24年11月7日(水) 15時00分～16時45分
- (2) 会 場 秩父市芸術文化会館
- (3) 参加者 秩父市体力向上推進委員
- (4) 講 演

演題「児童・生徒の体力向上に向けて」

講師 埼玉県総合教育センター指導主事 長谷川雅夫 先生

【講義内容から】

○埼玉県は投力が課題である。

原因…生活の変化で、幼少期から「投げる」経験が不足している。

公園などで野球などの遊びが禁止されるなど、環境が整っていない。等

改善…年間指導計画の活用と改善を行う。

運動の特性や魅力にふれる楽しさや喜びを味わわせる。

高田典衛先生 楽しさの四原則

1. 動く楽しさ
2. 集う楽しさ
3. 解かる楽しさ
4. 伸びる楽しさ



2 第2回秩父市体力向上推進委員会

- (1) 期 日 平成25年1月24日(木) 15時00分～16時45分
- (2) 会 場 秩父市芸術文化会館
- (3) 参加者 秩父市体力向上推進委員
- (4) 協 議

ア 埼玉県と秩父市児童生徒の新体力テストについて

イ 児童生徒の体力向上を目指した小・中連携に係る協議

【協議内容から】

○県の標準値を基準にした追跡調査を実施する。

○中学校の教員が小学校に出向き指導を行う。

○小・中合同連絡協議会を実施する。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

児童生徒の体力向上に向けた課題が明確になり、次年度の取り組むべき事柄が明確になった。

(2) 今後の課題

特に小学校では、本委員以外の教員と本委員会の内容を共通理解し、実践に結びつけていくことが課題である。

2 いじめ・不登校対策推進委員会

1 趣 旨

いじめ・不登校の未然防止、早期発見・早期対応をはじめ、より一層きめ細かな支援を行うため、学校内の組織的な対応の在り方や指導援助の進め方等について、教職員のスキルアップを図り、いじめ・不登校対策の核となる人材を育成する。

2 研究組織

◎ 委員長	1名（校長会より）
○ 副委員長	2名（教頭会より小学校1名・中学校1名）
○ 委員	23名（各小・中学校の教育相談主任、不登校児童生徒に関わっている教員等、学校長が推薦する教員1名）

3 開催日程等

回	日時・会場	内 容	参加者等
1	平成24年10月9日（火） 午後2時00分～ 午後4時30分 秩父市芸術文化会館会議室	秩父市のいじめ・不登校の現状 【講義】 演題「教師の対人コミュニケーション その1」 ～交流分析の視点から～ 講師 秩父市教育相談室臨床心理士 守谷賢二先生	・委員長 ・副委員長 ・委員 ・さわやか 相談員 ・教育相談員 37人
2	平成24年12月11日（火） 午後2時00分～ 午後4時30分 秩父市芸術文化会館会議室	「小・中連携支援シート」について 【講義】 演題「教師の対人コミュニケーション その2」 ～交流分析の視点から～ 講師 秩父市教育相談室臨床心理士 守谷賢二先生	・委員長 ・副委員長 ・委員 ・さわやか 相談員 ・教育相談員 37人

4 推進委員会の概要

（1）第1回「いじめ・不登校対策推進委員会」

ア 秩父市のいじめ・不登校の現状

（ア）平成24年度第1回生徒指導に関する調査から

（イ）「いじめ」は人間として許されない ～教育長メッセージ～

イ 講 義

（ア）演 題 「教師の対人コミュニケーション その1」～交流分析の視点から～

・講 師 秩父市教育相談室臨床心理士 守谷賢二先生

ウ 参加者の感想

- 「交流分析」は今までも聞いたことはあったが、今日の守谷先生の話で、実際に活用できるものだということがわかった。不登校傾向の児童に対し、以前の自分はCPが強かったんだと気づくことができ、今の自分は少しNP、ACそしてFCも気づかぬうちに出せているのかなと分析することができました。相手をよく知ろうとすることばかり考えていたが、自分をよく知っておくことの大切さがわかった。
- 秩父市のいじめ・不登校の現状について、たくさんの資料を用意していただきとてもよくわかりました。最近の動向もわかり学校に戻って役立てていきたいです。エゴグラムで自分の分析することで、自分について知ることができました。自分に必要なもの、変えていった方がよいことなどが具体的にわかり、今後の人間関係づくりに役立つと思います。具体的でとても参考になる研修会でした。



(3) 第2回「いじめ・不登校対策推進委員会」

ア 小・中連携支援シートについて

- (ア) 書式や記入対象児童の確認
- (イ) 作成・活用の流れ

イ 講義

- (ア) 演題 「教師の対人コミュニケーション その2」～交流分析の視点から～
・講師 秩父市教育相談室臨床心理士 守谷賢二 先生

ウ 参加者の感想

- 心理ゲームの話に興味深く聞きました。「キックミー」と「ひどいもんだ」に当てはまる児童がいて、「まさしくあの子はこれだ」と思いながら聞いていました。愛情を求められるのを拒まれて育って、見捨てられ不安を抱いて生活してきたところがあり、愛着障害かなとも思いましたが、境界性パーソナリティ障害ではないかと今回思いました。意図的に巻き込まれて職員全体で共有するというのを聞いてなるほど、と思いました。
- 人生脚本（脚本分析）に興味深く聞かせていただきました。子どもたちや保護者と接していると、私はまだまだ「待つ」「聴く」が苦手です。支援を考えていくためにも、これから自分の苦手な部分を変えていこうと思います。



5 「小・中連携支援シート」について

(1) 趣 旨

ア 集団不適応や不登校の問題は、今まで「対応」に重点が置かれていたが、最も重要な「予防」を第一の目的ととらえる。

イ 中1ギャップといわれるように小学校から中学校の生活の変化に適応できない子どもが増えている状況をとらえ、支援を必要とする子どもの対応について、小学校からの確な情報を「小・中連携支援シート」として発信し、それを中学校の教師が正しく受信することによって、一人一人の子どもを共通理解し、個に対応した支援を行う。

ウ 小6担任から中1担任に「小・中連携支援シート」によって申し送ることで、小・中学校での指導の継続性・系統性を図る。

(2) 「支援シート」記入の対象とする児童

次のア～エのいずれかに当てはまる児童。

ア 次の項目のいずれかに当てはまる児童

(ア) 欠席数（骨折等の怪我が欠席理由の児童は除く）

- ・小学校1～5年生のいずれかの学年で「20日以上欠席」した児童
- ・小学校6年生で「2学期終了時点で10日以上欠席」した児童

(イ) 遅刻・早退数

- ・小学校1～5年生のいずれかの学年で「遅刻早退数が合計20回以上」の児童
- ・小学校6年生で「2学期終了時点で遅刻・早退回数が合計10回以上」の児童

イ 次のような傾向が見られ、担任が「何らかの個別の関わりが必要」と考える児童

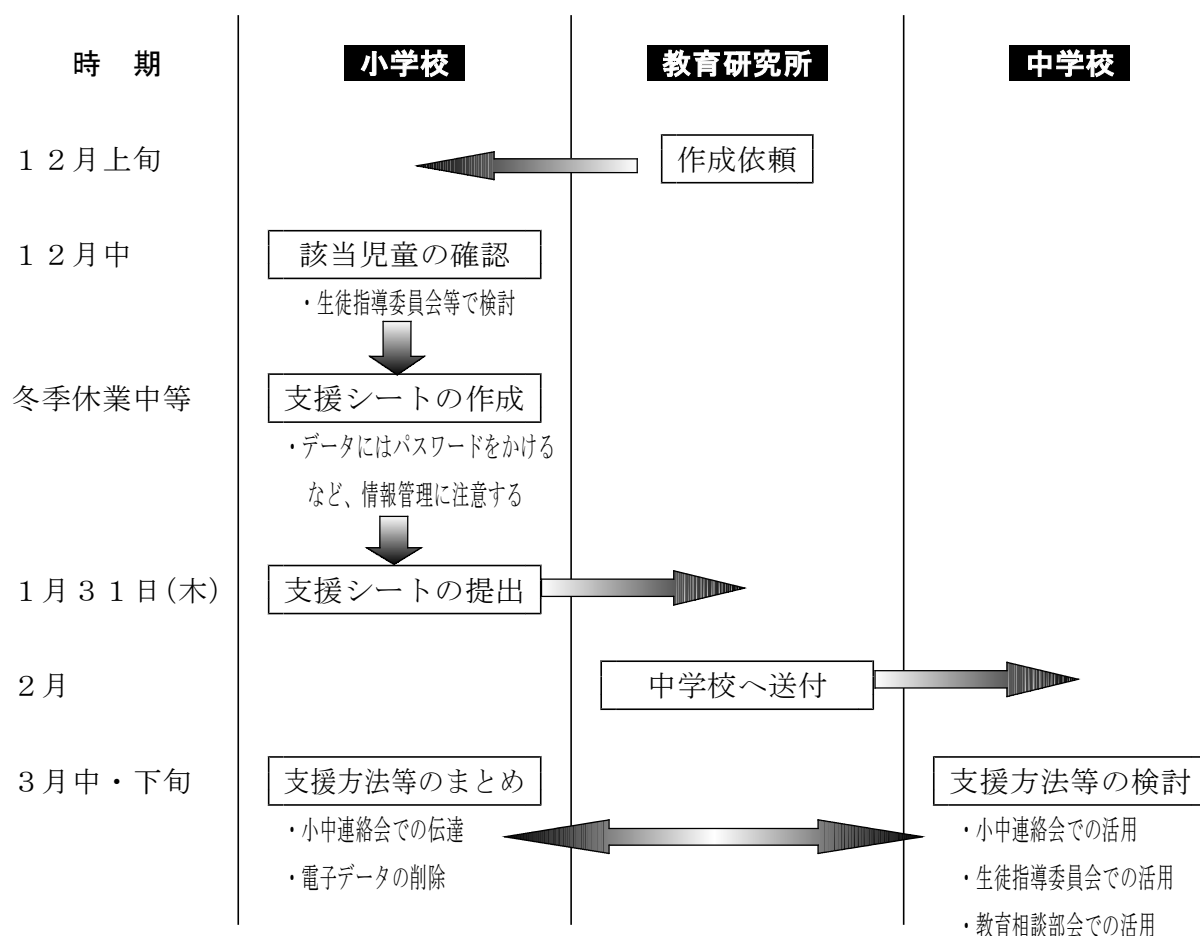
(ア) 学業不振の児童（特別支援学級在籍児童や個別の支援計画がある児童は除く）

(イ) ADHD、LD、高機能自閉症、アスペルガー症候群など発達障害が懸念される児童

ウ 非行・問題行動等による学校不適応が懸念される児童

エ その他、担任が「支援の必要さを感じる」児童

(3) 「小・中連携支援シート」作成・活用の流れ



6 成果と今後の課題

(1) 成果

- 講義を通して、いじめ・不登校対策や中1ギャップ解消への教職員の意識を高めることができた。
- さわやか相談員研修会も兼ねたため、相談員の資質向上が図られるとともに、学校全体で不登校問題を考えていく上でたいへん有効であった。
- 推進委員会で「小・中連携支援シート」の記入方法等を確認することや、小・中連携を一層推進していく意識を高めることができた。

(2) 今後の課題・次年度への検討事項

- 各学校において、中学校区での連絡会等を中心に、「小・中連携支援シート」を活用したシステムを引き続き実践する。
- 小・中学校の連携の一層の充実とともに、学校や家庭、地域、関係機関と連携協力した支援体制づくり推進する。
- 各学校の教職員の不登校に対する意識をさらに高めるとともに、資質の向上やスキルアップを図り、不登校対策の核となる人材を育成する施策の充実を図る。

小・中連携支援シート (小学校6年生用)

進学先		秩父市立	中学校
ふりがな 氏名	性別	男・女	小学校名
			秩父市立 小学校
		6年()組	担任名

1 担任記入欄 (担任として感じるおおよその程度の該当を■にする)

児童の持つ問題の程度	<input type="checkbox"/> 問題がない	<input type="checkbox"/> 少し問題がある	<input type="checkbox"/> 問題がある	<input type="checkbox"/> 大いに問題がある
指導のむずかしさ	<input type="checkbox"/> 難しくない	<input type="checkbox"/> 少し難しい	<input type="checkbox"/> 難しい	<input type="checkbox"/> 大いに難しい
児童の持つ問題の印象	<input type="checkbox"/> 気にならない	<input type="checkbox"/> 少し気になる	<input type="checkbox"/> 気になる	<input type="checkbox"/> 大いに気になる

2 欠席の様子等

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年(2学期終了時)
欠席数	日	日	日	日	日	日
遅刻早退合計	回	回	回	回	回	回

欠席が見られた理由・きっかけ【該当を■にする】(注意:欠席状況が対象となる児童のみ記入)

- 友人との関係の問題 学業上の問題 学校環境の変化 家庭環境の変化 不明
病気・身体の不調 ()
その他 ()

登校に対する本人の意欲 積極的 どちらともいえない 消極的 分からない

登校に対する保護者の意欲 積極的 どちらともいえない 消極的 分からない

現在の学習への意欲 積極的 どちらともいえない 消極的 分からない

3 児童の行動や様子【該当を■にする】

- まじめ 友達が多い おとなしい 穏やかである 幼稚さがある
内向的 楽観的 自己中心的 緊張しやすい 孤立感がある
感情の起伏が激しい 不快な感情を表現することが苦手
頑張ることができる ストレスに対して逃避的である
落ち着きがない 集団もしくは小集団での遊び(活動)が苦手である
新しい環境が苦手 人の気持ちを理解することが苦手である
周りの刺激に敏感である 該当なし
その他 ()

- 保健室によく行く 相談室によく行く 別室登校
いじめられた経験がある いじめた経験がある 茶髪・異装 深夜徘徊・家出
ADHD LD 高機能自閉症 アスペルガー症候群 その他発達障害の傾向
 →受診歴(医療機関名:) 投薬 検査歴(検査名:)
その他 ()

4 児童の特徴

学校での様子 (対人関係等)	学力面の特徴		好きな教科: 苦手な教科:
学校で好きな 活動 (委員会等)	学校で苦手な 活動 (委員会等)		
趣味・特技			
身体・成長 (養護教諭が記入)	身長: cm 体重: kg	養護教諭から みた児童の 様子	
連携について	<input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 総合教育センター <input type="checkbox"/> 医療機関 <input type="checkbox"/> その他()		

5 その他

担任記入欄	本児に対して効果のあった支援方法
	保護者の養育態度・学校への協力の様子
生徒指導主任等記入欄	本児との関わりで気付いたこと

7 「親の学習講座」事業

① 親のための「子どもの学力向上」講演会

1 本講演会のねらい

親を対象とした家庭学習に関する講演会を開催することで、児童生徒の家庭での学習を充実させ、児童生徒の学力向上を図る。

2 参加対象

一般市民

3 実施期日

平成24年11月18日（日）

4 会場

秩父市歴史文化伝承館2階ホール

5 演題「子どもの学力をぐんぐん伸ばす方法」

6 講師 教育評論家 親野智可等 氏

7 日程

13:00～13:30 開場

13:30～13:40 開会行事

13:40～15:20 講演

15:20～15:30 質疑

15:30～15:40 閉会行事

8 参加人数

130人

9 講演内容

- ・人間は、否定語で言われると、自分が否定されたと思ってしまう。それだけでなく、親に対する愛情不足感を感じる。
- ・親子関係が不振になってしまうと、他の人間に対しても不振をもつようになる。
- ・親は自己肯定感を育てながら「待つ」ことが大切である。
- ・「～ができるようになったね」等の肯定的表現が大切である。
- ・方法を工夫することが学力向上につながる。
※帰宅後、カバンの中のを箱の中に出してから遊びに行かせる。勉強に使うものを一式そろえてから遊びに行かせる。1問だけやってから遊びに行かせる。
- ・「吊り橋効果」を利用する。勉強する⇔誉められる⇔勉強が好き。
- ・子どもが宿題をやりたくないといったら、共感してあげる。たっぷり共感して、「でもね、やろうか」という方向へ促していく。門前払いはしてはいけない。たっぷり話を聞くことが大切である。子どもにとって「いい人」とは、「わかってくれる人」である。
- ・今できなくても、長い目で見てほしい。大器晩成という見方を大切にしてほしい。

10 成果

- 親野先生の経験に基づいた具体的でわかりやすいお話に、参加者は子どもを育てる上で大切な方法を数多く学ぶことができた。



2 親学アドバイザー派遣

1 親学アドバイザー派遣のねらい

親の教育力の向上のための支援を行う。

2 派遣内容

(1) 荒川幼稚園

ア 期日

平成24年5月30日(水) 午前9時45分～10時30分

イ 派遣アドバイザー(1名)

池田俊江

ウ 内容

「子育て」についての講演と保護者との懇談

(2) 埼玉県立大滝げんきプラザ

ア 期日

平成24年9月8日(土) 午後3時00分～5時00分

イ 派遣アドバイザー(4名)

池田俊江、黒澤伸江、野村弘子、宮原美幸

ウ 内容

大滝げんきプラザ主催事業「大滝ちびっこワクワクスクール」における「子育てトーク」のアドバイザー

(3) 南小学校

ア 期日

平成24年10月23日(火) 午後2時20分～3時00分

イ 派遣アドバイザー(6名)

池田俊江、関根正嗣、関根要子、高野明子、原嶋美智子、野村弘子

ウ 内容

保護者を対象に、親の役割や在り方を踏まえた上で、「好ましい子どもとの関わり方や躰の仕方」について、参加型学習を通して学ぶ。

(4) 影森小学校

ア 期日

平成25年2月1日(金)
午後2時50分～3時30分

イ 派遣アドバイザー(3名)

池田俊江、黒澤信枝、原嶋美智子

ウ 内容

新入児童の保護者を対象に、親の役割や親としての子どもとの向き合い方、しつけについて学ぶ。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

ワークショップによる支援活動を通して、保護者からの家庭教育等に関する様々な課題や相談に応じることができた。

(2) 今後の課題

更に多くの学校等で支援活動ができるよう、啓発活動にも力を入れていきたい。

IV 外国語指導助手（ALT）配置事業の概要

1 本事業のねらい

国際社会に対応した教育施策の一環として、国際理解教育、英語活動及び英語教育を一層充実するため、市内公立幼稚園、小・中学校に外国語（英語）指導助手（以下ALT）を配置する。

幼稚園及び小学校においては、言語や文化に対する理解を深め、外国語（英語）を聞いたり、話したりする楽しさを体験する。中学校においては、外国語（英語）を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を養う。

2 ALTの配置

秩父市内の幼稚園、小・中学校を8グループに編成し、ALTを8人配置した。

今年度は、業務委託による民間派遣のALT 8人を、中学校9校と小学校14校及び幼稚園3園に配置した。

A (委託)	B (委託)	C (委託)	D (委託)	E (委託)	F (委託)	G (委託)	H (委託)
秩父一中	秩父一中	大滝中	高篠中	大田中	影森中	秩父二中	尾田蒔中
秩父一小	秩父二中	荒川中	原谷小	吉田中	久那小	花の木小	尾田蒔小
吉田幼	—————	大滝小	高篠小	大田小	影森小	南小	西小
—————	—————	荒川東小	—————	吉田小	久那幼	—————	荒川西小
—————	—————	荒川幼	—————	—————	—————	—————	—————

3 ALTの年間訪問時間数

1学級あたりの授業時数を、小学校では、1年生及び2年生は10時間程度、3年生から4年生は15時間程度、5年生・6年生は35時間を標準とし、中学校では、授業時数の4～5割を標準に計画した。

4 ALTとかかわることの意義

(1) 幼稚園・小学校

ア ALTと直接触れ合うことで、外国のことばや文化について体験的に理解を深めることができる。

イ 児童に身近で基本的な表現を使いながら、英語に慣れ親しむ挨拶等の活動や児童の日常生活や学校生活にかかわる活動を中心にした体験的なコミュニケーション活動を図ろうとする興味や関心を高めることができる。

(2) 中学校

ア 英語による日常の基礎的な会話やスピーチ等を聞いて理解する能力を高めることができる。

イ 英語で自分の伝えたいことや情報等を話したり、相手の問いかけに英語で応答したりする能力を高めることができる。

ウ 日常生活における英語特有の基本的な語彙や慣用表現に触れることができる。

エ ALTと直接触れ合うことで、外国のことばや文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができる。

V 教育相談事業の概要

1 教育相談室の概要

秩父市は教育相談室を、昭和61年度に開設した。以来、児童生徒を取り巻く急激な環境の変化の中で個々の教育相談活動に取り組んできたが、平成7年度からは秩父教育事務所に配置されたスクールカウンセラーの助言を得て、より専門的な教育相談に当たることが可能になった。平成10年度、相談員を2名配置し、教育相談体制の充実を図り、翌平成11年度には、適応指導教室（ひまわり教室）を開設した。



秩父市芸術文化会館

平成15年度には、秩父市歴史文化伝承館に教育相談室及び教育相談員事務室を設けた。翌平成16年度「スクーリング・サポート・ネットワーク整備事業」の委嘱を受けたことに伴い、教育相談員4名を配置し、秩父市教育支援センターとして教育相談業務と適応指導教室の充実を図ってきた。平成17年度には、市町村合併によって旧吉田町の適応指導教室（やまなみ教室）を加え、2教室制とした。平成18年度には、教育支援センターを秩父市芸術文化会館内に移転し、生徒学習室・教育相談員事務室・個別相談室を整備した。平成24年度は、新たな業務としてスクールソーシャルワーカーを1名の相談員が兼務し、教育相談員3名を配置した。なお、やまなみ教室は諸事情により、休室とした。



適応指導教室（学習室）

2 教育相談実施状況

(1) 教育相談件数と延べ教育相談回数の推移

年 度 別	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
相 談 件 数	60件	62件	63件	70件
延べ相談回数	1,318回	1,409回	1,521回	1,609回

(2) 教育相談内容

相談内容	H23	H24	相談内容	H23	H24
いじめ	4件	4件	性格・行動	13件	20件
不登校	26件	29件	学業等	1件	0件
友人関係	3件	4件	その他	16件	13件

(3) 形態別教育相談回数

形態	H23	H24	形態	H23	H24	形態	H23	H24
来 室	307回	330回	自宅訪問	0回	0回	関係機関との連携	690回	577回
電 話	248回	484回	学校訪問	78回	69回	適応指導	198回	149回

※平成24年度（H24）は、すべて平成25年1月31日現在

(4) 相談内容等の状況

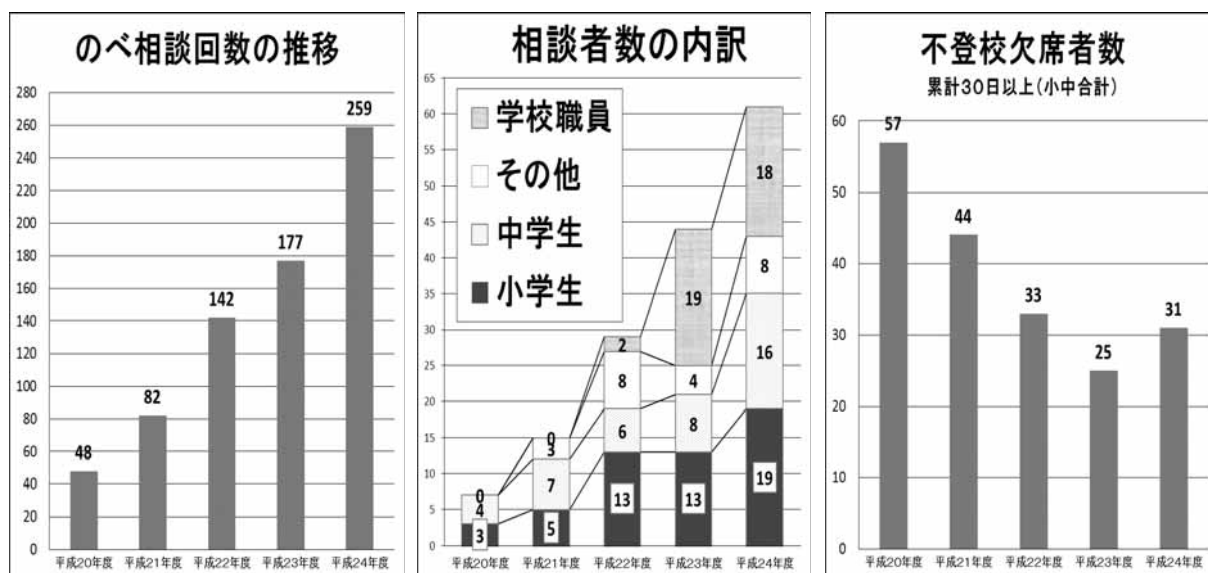
相談室では、学校をはじめ関係機関との緊密な連携を図りながら、教育相談や学習支援、保護者へのカウンセリング等を行っている。相談の形態は、相談者が直接相談室を訪れる来所相談と電話による電話相談であるが、その多くは児童生徒及び保護者や家族、知人、そして教職員等である。また、家庭訪問や学校訪問の要請もあり、その都度柔軟に対応している。相談内容は、児童生徒の不登校に関するもの、いじめや仲間外れ等学校生活上の問題、家庭での子どもとの関わり方やしつけのあり方、地域活動におけるトラブルなど、様々である。

不登校児童生徒は、進級・卒業時や各学期始め、学校行事等の節目に改善するケースが多い。教育相談の過程では、常に、管理職や担任、さわやか相談員など学校関係者との連携を密にしながら、個々の児童生徒に適した指導や支援に配慮している。

(5) 臨床心理士によるカウンセリングの状況

各小中学校等からの依頼により、専門的なカウンセリングを必要とする児童生徒を対象として週1日、臨床心理士によるカウンセリングを実施している。相談者は、児童生徒本人・保護者・学校職員・さわやか相談員等であり、予約制となっている。学校からの要請により、学校訪問に応じたり職員の校内研修の講師など、幅広く活用されているが、時間的な制約もあるため、他の相談者を受け入れられないなどの問題が生じてしまうことがある。

相談内容は継続した面談を必要とするケースが多く、時間も要する。今年度は、学校との連携の強化に努めた結果、管理職や担任と保護者、また教育相談員（SSW）を交えたケース会議を行う事例も増えた。相談の成果は、該当児童生徒についてだけでなく、学校全体の指導に役立つ結果となっている。



(各グラフ平成24年度は12月31日現在)

3 適応指導教室

(1) ひまわり教室

「ひまわり教室」は秩父市芸術文化会館内に設置している。

適応指導教室では、不登校児童生徒の学校復帰を目指し、相談員との教育相談や臨床心理士によるカウンセリングを意図的、計画的に実施することで精神面の強化を図り、

学校復帰へのステップとなるよう支援している。また、自主性を育てながら教科の学習指導を行うとともに、体を動かすことにより児童生徒の気分転換や体力の維持向上にも努め、教室の設備・備品等の充実にも努めている。平成19年度は、学習用ホワイトボード・電子ピアノ・衝立を購入。平成20年度はA2・A3サイズのポスターを作成し、各小中学校に配布、通路壁面用大型掲示板の活用、情報教育対応パソコン2台を設置、図書・参考書・ドリル・高校入試過去問題集・PCソフトを購入。平成21年度は図書・ソフトバレーボールを購入。平成22年度は、バドミントンラケット・金魚飼育用品・工作道具を購入。平成23年度は学習用机椅子の整備パーティションを購入。平成24年度には学習指導要領改訂に伴う教科書・問題集を購入し、設備の整備や備品等の一層の充実を図り、学習支援の質的向上に努めた。

(2) 自然社会体験教室

「自然社会体験教室」は平成16年度にスタートさせ、今年で9年目を迎えた。この教室は、さまざまな理由から不登校に陥ったり、その傾向にある児童生徒に対して、学校適応や社会適応のきっかけとすべく、仲間との触れ合いを中心とした体験活動を行っている。不登校児童生徒にとって人との関わりが持てる大変良い機会であり、貴重な情報交換の場となっている。参加した児童生徒は、通級児童生徒はもとより、



第7回 クリスマスリース作り (生徒作品)

各学校の相談室登校や保健室登校の児童生徒、保護者、教育相談員、さわやか相談員等との交流の中で伸び伸びと自己表現をしたり、生き生きと積極的に活動したりしている。

【平成24年度自然社会体験教室：年間計画】

No.	月 日(曜)	内 容	場 所
1	5月23日(水)	わくわくハイキング	羊山公園
2	6月20日(水)	知々夫神社へ行って見ましょう!	秩父神社
3	7月 4日(水)	守谷カウンセラーと語ろう!	秩父市教育研究所(ひまわり教室)
4	9月12日(水)	映画鑑賞会	秩父市教育研究所(ひまわり教室)
5	10月17日(水)	バドミントンをやってみましょう!	スポーツ健康センター(影森)
6	11月 6日(火)	Let's walking * 守谷C 同行	秩父ミュージズパーク
7	12月12日(水)	クリスマス飾りを作ろう!	秩父市教育研究所(ひまわり教室)
8	1月16日(水)	映画鑑賞会	秩父市教育研究所(ひまわり教室)
9	2月13日(水)	お楽しみ! 「卓球大会」	秩父市教育研究所(ひまわり教室)

4 教育相談員の研修

(1) 教育相談員カウンセリング研修

教育相談員の研修は、臨床心理士を指導者として、それぞれの事例について対応策を探った。臨床心理士の専門的かつ適切な指導助言は、相談員にとって非常に有益なものとなっている。また、相談員内で、個々の事例分析や支援方策について協議することで、具体的で統一した教育相談活動を行っている。

(2) さわやか相談員連絡協議会

市内各中学校区に1名ずつ配置した「さわやか相談員」は、様々な悩みや問題を抱える児童生徒に寄り添い、相談者として対応している。

今年度は、情報交換・相互連携を目的として、8回の研修会を開催し、内2回をいじめ・不登校対策推進委員会と共催した。また、研修会場を吉田中・尾田蒔中・高篠中に設定した新たな試みも行い、他校の相談室運営や生徒の様子などを実際に見ることができ、有意義なものとなった。

研修の主な内容は、情報交換・研究協議・事例研修等で、指導主事とさわやか相談員、教育相談員（SSW）との意見交換と効果的な対応策についてである。



さわやか相談員連絡協議会(高篠中)

5 成果と課題

(1) 今年度の成果

ア 保護者や児童生徒による電話や来所での教育相談件数が増加し（昨年度比45%増12月末現在）身近な相談機関として理解がすすみ、他機関との連携も充実した。

イ 適応指導教室「ひまわり教室」の周知と、適応指導教室通級が適当と思われる児童生徒の学校に具体的な紹介活動を進めた。

今年度は二学期末で、10名の通級者があった。特に、担任との情報連携と、学級での様子等の提供など学校復帰の意欲を育てる連携・支援ができた。

ウ 臨床心理士によるカウンセリングは希望者が年々増加している。今年度はカウンセラーの勤務時間を増やし、要望に応えた。

エ スクールソーシャルワーカー（SSW）兼相談員の新たな業務を展開し、不登校対応、発達障害や非行問題行動等について、学校との「ケース会議」「学校訪問」「学校職員との対応相談」活動等を実施し、地域諸機関との連携強化など具体的支援ができた。

オ 自然・社会体験教室は活動内容を工夫し、各学校の職員の理解と協力で多くの参加者のもと実施できた。

カ 学校訪問をSSW兼教育相談員が学期毎に全小中学校に実施し、児童生徒の欠席状況等を把握するなかで、各学校の抱える問題解決策等を協議支援できた。

(2) 今後の課題

ア 連携と支援方法の共有が支援活動では大きな鍵となる。今後も、より効果的な支援活動を積極的に推進する。

イ 所員、相談員のより専門的な資質向上を計画的に進め、さらに、各学校、保護者等に向け課題解決に向けた具体的支援、資料等提供を積極的に推進する。

ウ 教育相談、カウンセラー活用と適応指導教室利用に向けたわかりやすい資料（パンフレット等）を工夫作成し、効果的な利用と運営、支援の充実を目指す。

エ SSW兼教育相談員による計画的な学校訪問により、学校や保護者等の要望に積極的に応える支援を更に進める。また、学校と保護者、地域の諸施設との連携を積極的に図っていく。

オ 自然・社会体験教室の魅力ある計画立案と、適応指導教室の学習環境整備等の充実を図る。

VI 秩父大好き人間育成事業

1 子どもちちぶ学士・子どもちちぶ博士

1 趣 旨

秩父市の自然、歴史、文化、産業等、郷土に関する調査・研究を複数年にわたって進め、その成果が特に顕著であると認められる場合、又は一定の領域についての調査・研究・実践に複数年にわたって取り組み、努力の成果が特に顕著であると認められる場合、小学生には「子どもちちぶ学士」、中学生には「子どもちちぶ博士」の称号を授与する。

また、一定の領域についての調査、研究が、ジオパーク秩父に関連した調査、研究に該当する場合、「子どもちちぶジオ学士」「子どもちちぶジオ博士」の称号を授与する。

2 平成24年度の学士・博士の研究等の概要

(1) 子どもちちぶ学士

学士	No.22	学校名 ：西小学校	学年 ：6 学年	氏 名 ：加藤 かおり
研究領域	理科			
研究テーマ	秩父盆地の誕生について			※ジオ学士
1 研究内容				
(1) 市内の段丘の様子について				
(2) 秩父の地形を作った断層・ポットホールについて				
(3) 秩父の地下にある硬い岩盤が作った「七つ井戸」について				
(4) 長瀬の岩畳を観察したことについて				
(5) 秩父の地形ができ始めた頃を物語る「前原の不整合」について				
(6) 小鹿野町で見られる「ようばけ」について				
2 研究成果				
この研究を行ったことで、秩父市内の街の様子や昔の人の暮らし、また、大昔の秩父の様子を想像することができました。秩父市の魅力や素晴らしい自然に、たくさんふれあうことができました。				

学士	No.23	学校名 ：尾田蒔小学校	学年 ：6 学年	氏 名 ：内田 敦也
研究領域	社会科			
研究テーマ	秩父札所34カ所巡り2			※ジオ学士
1 研究内容				
昨年、札所巡りをしたときに、納経帳を仕上げました。今年も札所巡りを行い、2回目の印である重ね印をもらいたいと思いました。また、各札所にはよく知られていないけれど、伝説や昔話があることを知り、それを調べてまとめることにしました。				
2 研究成果				
秩父札所34カ所をすべて訪れることができました。「絵で見る秩父の民話集73話」を使い、お話を調べました。実際にお寺を訪ねてみると、奉納額には、それとは別の伝説も書いてありました。				
25番のハス池のハスの花はすごくきれいでした。				
31番の滝のところにいたコイの数がすごかったです。				

学士	No.24	学校名 ：原谷小学校	学年 ：6 学年	氏名 ：大嶋 七瀬
研究領域	理科			
研究テーマ	キアゲハの蛹化の観察			
<p>1 研究内容</p> <p>ニンジン畑でみつけたキアゲハの幼虫を飼育し、成虫になるまでを観察する過程でいろいろな疑問点があった。</p> <p>特に、蛹化の段階での不思議を解明するため、2年間数十匹の幼虫を観察し、蛹化や羽化がいつ頃になるかを見極め、その変化の瞬間をビデオ撮影することに成功した。</p> <p>蛹化での不思議を7つ選び、「七不思議」として研究成果をまとめた。</p> <p>2 研究成果</p> <p>① 卵から羽化するまでを通して観察し、成長の過程や変化、速度を記録できた。</p> <p>② サナギに変化する準備がどのようなものか解明できた。</p> <p>③ 背中の糸をどのようにして背中に廻すのか解明できた。</p> <p>④ サナギになる瞬間がいつごろになるか、体の変化でわかるようになった。</p> <p>⑤ 羽化の瞬間に、背中の糸をクリアする方法を観察できた。</p> <p>⑥ 脱皮したあとの皮の脱ぎ捨て方に感動した。</p> <p>⑦ サナギは、止まり木の色によって、体の色が変わることがわかった。</p> <p>番外編：サナギから羽化する瞬間に、さなぎのぬけがらの中に、おしっこをすることが、ビデオを観察でわかった。</p>				

学士	No.25	学校名 ：原谷小学校	学年 ：6 学年	氏名 ：口分田 璃音
研究領域	社会科			
研究テーマ	善光寺と秩父三十四箇所水潜寺についての研究			※ジオ学士
<p>1 研究内容</p> <p>秩父には札所三十四箇所があり、四国三十三箇所、坂東三十三箇所と合わせて日本の百観音と言います。秩父の三十四番水潜寺を最後に巡礼した後、長野の善光寺に参ることが慣例となっています。なぜ最後に善光寺に参るのか不思議に思い、善光寺について調べてみようと思いました。善光寺とその歴史を、実際に善光寺を見学したり、話を聞いたりして調べました。</p> <p>また、重要な歴史に頻繁に登場する善光寺には国の重要文化財もたくさんあり、建物や御本尊様などについて調べました。一生に一度お参りすれば、あらゆる苦しみから解放されて幸福に満たされる世界が約束されるとも伝えられ、古くから大名や庶民に信仰されてきました。秩父にも札所三十四箇所があり、その結願寺である水潜寺が善光寺とどのようにかかわっているのかを調べました。</p> <p>2 研究成果</p> <p>「日本百観音を結願した後、善光寺に参る」といわれていて、実際にその善光寺を家族みんなで見学してきました。善光寺御開帳というのがあり、御本尊様ではなく御本尊様の代りを務める前立本尊の御開帳なのだそうで、その時に回向柱といって、この柱に触ると前立本尊様に触れたことと同じご利益があるそうです。全国から50万人以上の人々が集まり御本尊様にすがりにくるようです。重要文化財を見たり、案内係の人の貴重な話を聞いたりして、歴史や信仰について知ることができました。また、日本百観音や秩父三十四箇所にも深い関わりがあることがわかりました。</p>				

学士	No.26	学校名 ：原谷小学校	学年 ：6 学年	氏名 ：小泉 佳弘
研究領域	社会科			
研究テーマ	秩父鉄道の歴史と秩父の産業について			※ジオ学士
1 研究内容				
(1) 明治時代について				
秩父の主な産業は絹織物でした。秩父の絹織物は、秩父銘仙として、全国で人気が出ました。その絹織物を一度にたくさん運ぶために鉄道が必要だと考えられ、秩父鉄道がつくられ始めました。				
(2) 大正時代から昭和時代の前半について				
秩父の主な産業はセメントにかわりました。関東大震災や第二次世界大戦後に都会ではたくさん建物が建てられたので、セメントが必要とされたのです。秩父鉄道は工事がストップしたりもしましたが、セメントを運ぶことも大きな目的として全線開通して、昭和の終わりごろまでたくさんのセメントを運びました。				
(3) 昭和時代前半から平成時代について				
秩父は観光地としてにぎわうようになりました。芝桜や夜祭、またジオパークに認定されたりと、秩父は注目を集めています。秩父鉄道は今、たくさんの観光客をのせて走っているのです。				
2 研究成果				
秩父鉄道は全線が開通するまで、たくさんの苦労もありましたが、多くの人が秩父の産業の発展のためになると考え、努力して完成させたのだとわかりました。また、秩父の産業は絹織物業→セメント業→観光業と時代によって変化してきましたが、常に秩父鉄道で運ばれていたこともわかりました。秩父の産業は、秩父鉄道によって支えられてきたのです。				

学士	No.27	学校名 ：原谷小学校	学年 ：6 学年	氏名 ：逸見 優斗
研究領域	理科			
研究テーマ	クマムシの研究			
1 研究内容				
① 家の周りのコケにもクマムシがいるか調べる。				
② 乾眠状態のクマムシを電子レンジを温め水を加え復活するか実験する。				
③ クマムシを乾眠させて水で復活するか調べる。				
④ 1年前に乾眠させたクマムシが水で復活するか調べる。				
⑤ 冷凍させたクマムシが復活するか調べる。				
⑥ 電子レンジで温め水を加え復活するか調べる。				
⑦ クマムシを異なる環境で1年間保存し復活するか調べる。				
⑧ 電子レンジで温めて水で復活するか調べる。(高温の限界)				
2 研究成果				
家の周りのコケからクマムシを採取し、観察を実験をした。電子レンジの実験では、失敗、工夫、成功を繰り返しながら、乾眠状態(乾燥状態)がクマムシの復活に影響することがわかり、電子レンジの高温にも耐えることができ、不死身といわれているクマムシの凄さがわかりました。冷凍の実験は、はっきりした実験結果が得られずに、実験方法、保存方法など課題が残る結果になりました。1年間異なる条件で乾眠させ復活させようと実験しましたが、クマムシは1匹も復活しませんでした。その理由を本で調べると、過去の実験結果などから乾眠状態だと様々な極限状態に耐えられるのに、その寿命は意外と短いことがわかりました。				

学 士	No.28	学校名：大田小学校	学年：6 学年	氏 名：浅香 好
研究領域	理科			
研究テーマ	身のまわりの放射線調べ			
<p>1 研究内容</p> <p>放射線とはどのようなものか調べることから始め、自分の家のまわりでどれくらいの放射線量があるか実際に測定したりして、次のような項目で研究した。</p> <p>(1)放射線とは。 (2)家のまわりで放射線量はどれくらい？ (3)地域の放射線量はどれくらい？ (4)放射線量は時間で変化しているか。 (5)自然の放射線量は場所によってちがうか。 (6)排水口のまわりの放射線量の変化。(7)除染はできるか。 (8)放射線は物体をどれくらい通り抜けるか。</p> <p>2 研究成果</p> <p>上記のような研究の結果、雨どいや排水口の下や道路脇の側溝などの放射線量が値がとても高いことを確認した。さらに、地面から0 mで高い数値が出て、1 mの高さ、また水平距離で1 m離れると、放射線量はまわりとほぼ変わらない値になること、排水口のすぐ下の土を10cm 取り除いて別の土と入れ替えると、ほぼ他の場所と同じ値の線量になることなどがわかった。</p> <p>また実験から、放射線(γ線)は身のまわりにある物のほとんどを通りぬけること、原発に由来しない放射線が花こう岩などから出ていることなどを確認した。</p>				

学 士	No.29	学校名：吉田小学校	学年：6 学年	氏 名：宮原 悠衣
研究領域	社会科			
研究テーマ	秩父神社の彫刻と祭り			※ジオ学生
<p>1 研究内容</p> <p>秩父神社の代表的な彫刻「子育ての虎」「お元気三猿」「北辰の梟」「つなぎの龍」について、どのような意味があるのか調べた。</p> <p>また、秩父神社で行われている代表的な祭典を見学し、その内容について参考資料及び関係者への聞き取りをして調べた。</p> <p>2 研究成果</p> <p>【彫刻】</p> <p>子育ての虎・・・幼子の無事な成長を祈る願いがこめられている。 お元気三猿・・・日光東照宮の三猿に対し、よく見て・よく聞いて・よく話す ということで親しまれている。 北辰の梟・・・体は正面の御本殿を向き、頭は正反対の真北を向いて昼夜を問わず、御祭殿をお守りしている。 つなぎの龍・・・神社の東北隅（表鬼門）を守護する青龍の姿を名工「左甚五郎」社殿彫刻に施したものと伝えられている。</p> <p>【祭典】</p> <p>節分祭・・・神楽殿で数回豆まきを行い、赤鬼・青鬼が逃げ回る。夜、ひきめ行事があり「怨敵退散」「悪魔降伏」と唱え、福神舞いがある。 お田植え祭り・・・埼玉県無形民俗文化財に指定され、豊穰予祝儀礼として行われる。 川瀬祭・・・夏季によく発生する疫病を退散させるための神事。 秩父夜祭・・・神社から御神幸行列を仕立て、屋台・笠鉦が曳行されて御旅所へ向かい、祭場で神体山の神を迎えて神事祭典を行い屋台は奉納舞いを演じる。</p>				

学士	No.30	学校名 ：荒川東小学校	学年 ：5 学年	氏名 ：小俣 良将
研究領域	社会科			
研究テーマ	秩父往還道に行く			※ジオ学士
1 研究内容 (1) 往還道の道すじ (2) 谷を渡るところを詳しくみる。 ア 浦山川を渡る所 イ 安谷川を渡る所 ウ 白久から荒川を渡る所 2 研究成果 往還道を歩いてみて、今は車の通行や人々が通りやすいように、道はばが広がったり、曲がりや急坂が直されているが、昔の人は急な道やせまい道を大変な思いをしながら歩いていたのだということがわかった。				

学士	No.31	学校名 ：荒川東小学校	学年 ：5 学年	氏名 ：笠原 千聖
研究領域	社会科			
研究テーマ	秩父を小旅行！札所巡りの旅			※ジオ学士
1 研究内容 (1) 秩父札所の場所を、地図を使って調べる。 (2) 札所の歴史や見どころを調べる。 (3) 札所巡りを体験する。 (4) 札所巡りをしながら、秩父の良いところをみつけてみる。 2 研究成果 はじめに“札所”について調べてみました。どの本を見ても難しい漢字とはじめて聞く言葉ばかりでしたが、秩父札所34カ所と西国、坂東を合わせると100カ所の観音霊場があり、3カ所の霊場の中では、秩父の歴史が一番新しく、鎌倉時代にできたようです。そして、秩父は札所の距離がほかの霊場のように離れていないため、江戸時代の頃から、多くの人々が秩父を訪れていたようです。 札所は、秩父の自然を上手に利用して作られています。秩父が“ジオパーク”に認定されたことも、札所巡りをするとよくわかります。そして、各札所には、いろいろな言い伝えがあり、歴史を感じることができます。				

(2) 子どもちちぶ博士

博士	No.55	学校名 ：影森中学校	学年 ：2 学年	氏名 ：関田 雄介
研究領域	社会科			
研究テーマ	影森の文化財を訪ねて			※ジオ博士
1 研究内容 自宅に秩父市の文化財について記された本があり、私が住んでいる影森のまつりや史跡などについて読みました。 特に、「影森用水」については、祖母や両親に聞いてもわからなかったもので、調べようと思いました。他にも諏訪神社の杉、金仙寺の杉、金仙寺のしだれ桜、札所28番、27番を調べてみました。				

2 研究成果

今回の研究を通して、歴史のある文化財が身近なところに沢山あるということを実感しました。また、影森用水については山の中にあり、いろいろな人に聞いても場所がわかりませんでした。少し形が変わっていましたが、大事なものだと思うので、今後もしっかり保存してほしいと思いました。

博士	No.56	学校名 ：荒川中学校	学年 ：3学年	氏名 ：久保 郁海
研究領域	社会科			
研究テーマ	神明社の神楽とお祭りについて			
1 研究内容	<p>(1) 埼玉県民俗芸能調査報告書第14集をもとに、神明社の歴史、神楽の舞、太鼓、笛、お面についてまとめました。</p> <p>(2) 実際にお祭りや、「総合的な学習の時間」で神楽を体験したことをもとに、資料や情報をまとめました。</p> <p>(3) 年に3回行われるお祭りで演奏される白久の屋台囃子と、秩父夜祭などで演奏される秩父の屋台囃子とのちがいをまとめました。</p>			
2 研究成果	<p>(1) 埼玉県民俗芸能調査報告書第14集からは、神明社の歴史、神楽の舞、太鼓、笛、お面について深く知ることができました。</p> <p>(2) 実際の神楽を体験して、改めて神楽の難しさや魅力を知ることができました。</p> <p>(3) お祭りで演奏された2つの屋台囃子の違いを知り、それぞれの持つ良さがわかりました。</p>			

博士	No.57	学校名 ：荒川中学校	学年 ：3学年	氏名 ：筒井 陸
研究領域	技術科			
研究テーマ	水力発電			
1 研究内容	<p>自転車の発電機を使って、雨水を利用して水車を回転させて発電する自家用発電機を製作した。</p>			
2 研究成果	<p>実際に製作することにより、設計・加工の技術が身につき、地域や地球環境に対する関心が高まった。</p> <p>※秩父郡市発明創意くふう展 金賞</p> <p>※埼玉県発明創意くふう展 埼玉県産業労働部長賞</p>			

2 秩父市子ども伝統芸能伝道師・子ども芸術文化伝道師

1 趣 旨

秩父市に古くから伝わる伝統芸能の継承、普及等に継続的に取り組み、優れた成果を収めている児童生徒に「秩父市子ども伝統芸能伝道師」、芸術文化活動において特に優れた成果のあった児童生徒に「秩父市子ども芸術文化伝道師」の称号を授与する。

2 平成24年度「秩父市子ども伝統芸能伝道師・子ども芸術文化伝道師」授与児童生徒

(1) 秩父市子ども伝統芸能伝道師（小学生41名、中学生120名、合計161名）

伝統芸能名称	学校名	学年	児童生徒名
宮地屋台子供歌舞伎	秩父第一小学校	小6	浅見有紀 新井葉子 新井莉央 石田真菜美 市川啄巳 生出直希 岸野 誉 齋藤優香 深田翔太 藤田花那
		小5	浅見茉希 黒澤 樹 島寄阜貴 橋本 賢 引間康斗
所作・曳き踊り 立方	秩父第一小学校	小6	横川青空
秩父歌舞伎	秩父第一小学校	小5	新井彩花
	花の木小学校	小6	町田 雅
秩父屋台囃子	西小学校	小6	小林夢斗 明石太智 加藤亮輔 高橋勇冴 中沢昂大
		小5	濱田慎太郎
		小4	黒沢 翼 田村 萌 堀内 晴 王 滄
	尾田蒔小学校	小6	大谷海利 内海陽斐 中川竜次
	原谷小学校	小6	原島優綺 大浜千歌 西村美咲 堀口佳史 堀口喜恵 齋藤奎太 梅沢拓樹 武田美乃理
萩平歌舞伎	尾田蒔小学校	小6	石原菜央
	尾田蒔中学校	中3	黒澤萌香 坂本夏紀 角田桐乃 米持彩加
黒谷獅子舞	原谷小学校	小6	赤坂雄斗
貴布禰神社神楽	吉田中学校	中2	天野踊子 新井志穂 新井侑亮 新井ひかり 新井優愛 新井陸斗 出浦進也 井嶋あかね 井上賢人 加藤 樹 倉林大貴 小池稚夏 小島空大 小杉優花 坂本麻緒 塩田拓実 高野開杜 竹内悠人 豊田拓海 引間恵玲奈 西野実来 藤原紗香 邊見 雅 布留川礼乃 堀口和樹 村上 陸 村田彪雅 山口 圭 新井菜々 飯塚駿介 井上羅衣 岡田椋太 落合 駿 落合友樹 加藤 光 川井玲旺 岸いづみ 杳掛優樹 久保 瑞 小菅数馬 齋藤裕花 島崎美帆 島崎友菜 竹内 叶 竹内麻優 玉城裕大 中庭 南 長島誉弥 西 樹 林 怜央 原島快多 原田麻衣

			宮前快志 宮本桃花 室久保芽衣
三峯神代神楽	大滝中学校	中 3	浅海賢人 笠原 耀 関口友理 神塚香朱美 山中智代 山中 涉
白久串人形芝居及び白久神明社神楽	荒川中学校	中 3	赤岩由菜 秋本紘輝 新井千裕 新井優斗 井上岳人 江原莉愛 大澤崇良 大澤紗里奈 大澤直也 笠原理那 久保郁海 高橋真紗斗 小池璃久 菅沼啓紀 高橋祐太 武石安希子 田中 裕 筒井 陸 中西 光 福井なつみ 福田尚大 町田和輝 町田天翔 松田紗瑛 山中明子 山中千菜 山中 凌 浅香 諭 浅見梨花 新井優利 磯田彩美 今井冴佳 岡本卓也 小俣和真 加藤未沙 加藤アイリ 小崎直希 坂井寿満 嶋谷萌衣 菅沼 葵 菅沼祐斗 田中 健 千島茉耶 武石向胤記 根津由紀 萩原拓巳 濱口 広 原 直哉 引間琴美 藤代峻介 真下俊哉 町田祥吾 宮崎優衣 矢端 丈 山中章弘

(2) 秩父市子ども芸術文化伝道師 (小学生7名、中学生64名、合計71名)
ア 個人

児童生徒名	学 校 名	年 齢	芸術文化(作品等)の名称
中野 成政	西小学校	3	絵画「秩父夜祭り」 第47回郷土を描く児童生徒美術展 県知事賞
杉田 渚	南小学校	6	絵画「マイランドセル」 第47回郷土を描く児童生徒美術展 県知事賞
行本日菜子	原谷小学校	2	絵画「とんぼにのって南の島へ」 第42回県民の日記念絵画コンクール 県知事賞
金子 敦紀	影森小学校	2	作文「思いやりのハンカチ」 埼玉県読書感想文コンクール特選
竹内 夢芽	吉田小学校	1	絵画「グルグルぐるーり どうぶつといっしょにおさんぽ」 第42回県民の日記念絵画コンクール 県知事賞
中村 草汰	大滝小学校	1	絵画「まほうのにわとりとあそんだよ！」 身体障害者福祉のための第54回埼玉県児童生徒美術展覧会 埼玉県連合教育研究会 会長賞
坂井 舞	荒川東小学校	6	作文「言えなかったありがとう」 人権啓発フェスティバル・ヒューマンフェスタ 2012さいたま 県知事表彰
浅賀 映季	秩父第一中学校	1	絵画「秩父の象徴 武甲山」 第42回県民の日記念絵画コンクール 県知事賞
小室 弥優	秩父第二中学校	3	作文「大好きな秩父の未来を思う」 未来を担う私たちの主張 中学生の部 優秀賞
大畑 桃花	尾田蒔中学校	3	作文「武甲山について」 武甲山に関する図画・作文展覧会 県知事賞

福島 新	尾田蒔中学校	2	絵画「秩父の主演『武甲山』」 第42回県民の日記念絵画コンクール 県知事賞
山中 渉	大滝中学校	3	作文「神楽・神話の世界」 第42回県民の日記念作文コンクール 優秀賞
山中 友華	荒川中学校	2	作文「『そばの里』荒川」 第42回県民の日記念作文コンクール 最優秀賞

イ 団 体

●秩父第一中学校コーラス部

「第55回埼玉県合唱コンクール金賞」「第67回関東合唱コンクール銀賞」他

学年	生徒名								
1	浅見彩芽	高野七穂	横田裕依	新井希美	今井なつき	戸塚碧乃利	西優奈花		
	古川水美	石井綾乃	高橋穂月	土橋愛理沙	宮本亜実	磯田英里	小池由夏		
	関根菜月	田主和花	新井乃愛	有吉茉奈美	小崎麻衣	久保遥花	小林明日香		
	小林未来	鳶田エミリ	茂木未宙						

●秩父第二中学校合唱部

「TBS こども音楽コンクール埼玉大会最優秀賞」他

学年	生徒名								
3	宮前里帆	明石萌	佐藤礼奈	依田茉奈美	加藤百香	栗原沙也加	須賀純玲		
	坪井千華	町田佳穂	町田紗耶	森田志麻	加藤美沙樹	黒沢帆香	杉田知美		
	高野万里香	細谷優花	落合麻理奈	宮下友希					
2	新井桃子	三根美里	猪瀬茜里	黒沢未来	小林霞	鈴木志穂	高橋美波		
	原絢音	宮原咲季	山中麻央	斎藤妃那子	町田楓	町田文香	町田友香		
1	加藤佑香	細谷彩花							

3 秩父市子どもスポーツマスター

1 趣 旨

スポーツの各分野において優れた成果のあった児童生徒に「秩父市子どもスポーツマスター」の称号を授与する。

2 平成24年度秩父市子どもスポーツマスター授与児童生徒

(小学生5名、中学生17名、合計22名)

児童生徒名	学 校 名	年 齢	スポーツの名称等
新井 玲也	花の木小学校	6	剣道(団体)
伊藤 颯希	西小学校	5	第35回全国スポーツ少年団剣道交流大会
浅海 芹奈	大滝小学校	5	埼玉県代表選手選考会 小学生団体の部第1位
山中 真愛	荒川東小学校	5	
井上あずみ	荒川東小学校	4	

石田 智大	秩父第一中学校	3	弓道 (団体)
田村 祐磨	秩父第一中学校	3	第25回埼玉県民総合体育大会兼
若林浩太郎	秩父第一中学校	3	第9回全国中学生弓道大会埼玉県予選会 第2位
小泉稀莉子	秩父第一中学校	3	第25回埼玉県民総合体育大会兼 第9回全国中学生弓道大会埼玉県予選会 第1位
伊古田莉永	秩父第一中学校	3	第25回埼玉県民総合体育大会兼
前野 紗希	秩父第一中学校	3	第9回全国中学生弓道大会埼玉県予選会 第2位
萩原 愛	秩父第一中学校	3	
引間 彩乃	秩父第一中学校	3	埼玉県武道大会 弓道大会 第1位
福嶋 優奈	秩父第一中学校	3	
町田 龍希	秩父第一中学校	3	相撲 (団体)
新井 秀弥	秩父第一中学校	3	学校総合体育大会県大会 第2位
強矢 和輝	秩父第一中学校	3	
村吉 誉	秩父第一中学校	3	
井上新太郎	秩父第二中学校	3	野球：日本代表 (投手兼内野手) 全米選手権準優勝
沓掛 優樹	吉田中学校	2	相撲 (団体)
藤元 洸弥	吉田中学校	1	新人体育大会兼県民総合体育大会 第2位
齋藤 龍磨	吉田中学校	1	

平成24年度

子どもちび学士・子どもちび博士

秩父市子ども伝統芸能伝道師・秩父市子ども芸術文化伝道師

秩父市子どもスポーツマスター

称 号 授 与 式

- 日 時 平成25年2月20日 (水) 午後4時00分～午後5時00分
- 場 所 秩父市歴史文化伝承館 2階 ホール
- 参加者 授与児童生徒 56名 保護者 54名
教職員 8名 市関係者 13名



あとがき

秩父市教育研究所は、①教育に関する専門的・技術的事項の調査研究に関すること、②教育関係職員の研修に関すること、③教育相談及び指導業務に関すること、④教育に関する資料の収集及び提供に関すること、⑤その他教育の充実と振興を図ることを目的として平成17年4月1日に設置され、本年で8年目を迎えました。

秩父市の教育の現状と課題をふまえ、「秩父市学校創造スーパープラン」に基づき、「笑顔とあいさつ 思いやりと感動 志高き 秩父大好き人間を育てる」ことを目標に事業を実施してまいりましたが、その内容につきまして「紀要」第8号にまとめさせていただきました。平成24年度における教育研究所の事業の概要を多くの皆様方にご覧いただくとともに、取組についてご意見をいただき、今後の教育研究所のさらなる充実・発展を図りたいと考えます。

教育研究所が設置され8年目を迎える今年度は、これまでの7年間の反省の上に立ち、秩父ならではの教育活動と特色ある学校（園）づくりを目指して、各学校（園）を支援するために全力を尽くしてまいりました。北部教育事務所と連携した学校訪問や各学校（園）からの要請に基づく訪問指導では、各学校（園）の実態に応じた様々な特色ある教育活動を通して、確かな学力の定着や豊かな心の育成に着実な成果をあげている様子をうかがうことができました。

教職員を対象とした学校経営参画意識を高める研修講座等や各種推進委員会をはじめとする研修会の実施に際しましては、開催時期や実施回数の検討を行い、各学校（園）の日程等を考慮し、調整をしてまいりました。まだまだ十分とは言えませんが、今年度の反省を生かし、充実した研修会の運営に留意してまいりたいと思います。

終わりに、この1年間、秩父市教育研究所の諸事業に際し、ご指導、ご助言をいただきました関係諸機関ならびに多くの皆様に心から感謝申し上げますとともに、今後とも皆様からの一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年3月